

資料

子どもたちの体力向上について

平成30年3月26日

三重県教育委員会

《目 次》

子どもたちの体力向上について

I	平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要	
1	本調査開始（平成20年度）以降の全員を対象とした調査の体力合計点経年変化	1
2	実技に関する調査結果	2
II	本年度の調査における本県の特徴や傾向	
1	小学校	3
2	中学校	6
3	不得意種目の状況	9
III	平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果からの考察	
1	本調査結果の児童・生徒質問紙調査及び学校質問紙調査から	11
(1)	学校全体での体力向上の取組	
(2)	児童・生徒の体育・保健体育に対する意識と授業の工夫・改善	
(3)	家庭への働きかけ	
(4)	健康に対する意識と生活習慣	
(5)	児童・生徒の自信や意欲と体力合計点	
IV	平成26年度小学校5年生、平成29年度中学校2年生の比較	35
(1)	体力合計点	
(2)	実技種目	
(3)	児童・生徒質問紙の回答状況	
V	今後の取組方針	39
	【参考】	
※	H29みえ子どもの元気アップシート	
※	体力ふりかえりシート	
※	子どもの体力向上について	
※	みえの地物が一番！朝食メニューコンクール	

子どもたちの体力向上について

子どもたちの生涯において、健康の保持増進のためには、人間の活動の源になる体力を子どもの時期からしっかりと身に付けていくことが必要です。体力向上のためには、健康の三原則である運動、栄養（食事）、睡眠を生活習慣の中に定着させていくことが重要です。

三重県では平成20年度からスポーツ庁（文部科学省）が実施している小学5年生と中学2年生を対象（悉皆調査）にした「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（以下「体力調査」という。）に参加しています。

I 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要

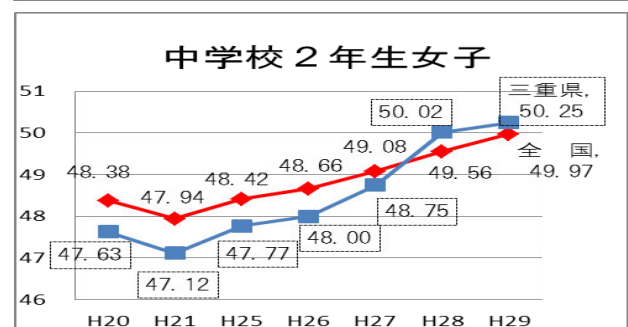
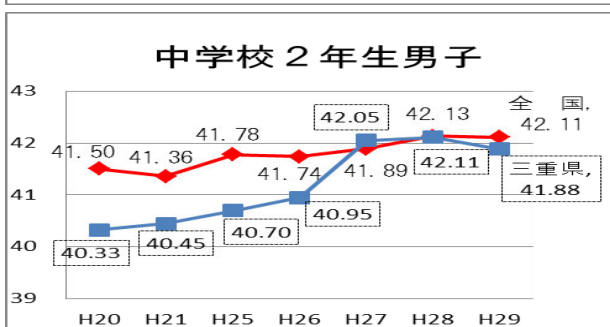
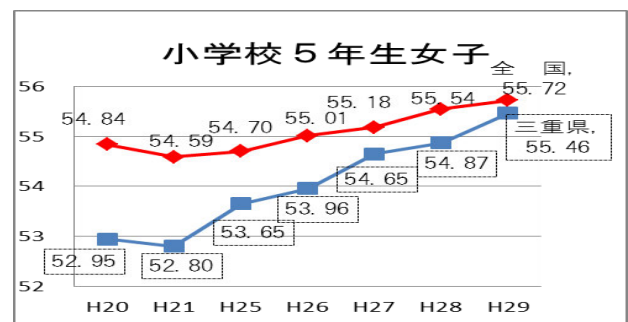
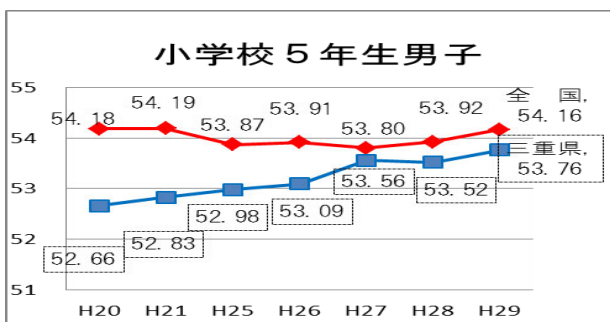
- 参加対象：小学校第5学年 358校、15,968人（義務教育学校1校、特別支援学校1校含む）
中学校第2学年 159校、15,124人（義務教育学校1校、特別支援学校5校含む）

○中学校女子の体力合計点は、昨年に引き続き全国平均を上回りましたが、中学校男子および小学校男子・女子については、ともに全国平均値を上回ることができませんでした。しかし、小学校男子・女子、中学校女子については、過去最高値を示すなど、体力向上に係る取組の成果が表れてきています。

○種目別の全国平均値との比較では、小学校男子は8種目中2種目、小学校女子は8種目中3種目、中学校男子は9種目中2種目、中学校女子は9種目中4種目が上回り、あわせて34種目中11種目が上回りました。（昨年度は34種目中13種目が上回る）

1 本調査開始（平成20年度）以降の全員を対象とした調査の体力合計点経年変化

※ 平成22・24年度は抽出調査、平成23年度は東日本大震災の影響で中止のため、除外



2 実技に関する調査結果

【小学校第5学年の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H29年度	H29年度	H28年度	H29年度	H29年度	H28年度
	三重県	全国	三重県	三重県	全国	三重県
握力 (kg)	↑ 16.63	16.51	16.48	↑ 16.27	16.12	16.08
上体起こし (回)	↑ 19.11	19.92	19.03	↑ 18.19	18.81	17.77
長座体前屈 (cm)	↓ 32.85	33.15	32.89	↓ 37.03	37.43	37.10
反復横とび (点)	↓ 42.58	41.95	42.84	↓ 40.61	40.06	40.74
20mシャトルラン(回)	↑ 52.01	52.24	51.17	↑ 40.90	41.62	39.42
50m走 (秒)	↑ 9.42	9.37	9.47	↑ 9.65	9.60	9.72
立ち幅とび (cm)	↑ 150.50	151.71	149.84	↑ 144.80	145.47	143.68
ソフトボール投げ(m)	↑ 22.49	22.53	22.29	↑ 14.20	13.94	14.11
体力合計点※ (点)	↑ 53.76	54.16	53.52	↑ 55.46	55.72	54.87

 : 全国平均を上回る ↑ : 平成28年度三重県平均を上回る ↓ : 平成28年度三重県平均を下回る
 ※体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点

【中学校第2学年の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H29年度	H29年度	H28年度	H29年度	H29年度	H28年度
	三重県	全国	三重県	三重県	全国	三重県
握力 (kg)	↓ 28.60	28.89	28.64	↑ 23.70	23.82	23.69
上体起こし (回)	↑ 26.96	27.45	26.91	↑ 23.43	23.73	23.03
長座体前屈 (cm)	↓ 43.06	43.20	43.31	↑ 46.14	45.86	45.63
反復横とび (点)	↓ 52.37	51.89	52.42	↓ 47.38	46.76	47.40
持久走 (秒)	↑ 395.89	391.23	397.39	↓ 292.05	287.36	289.19
20mシャトルラン(回)	↓ 85.34	85.99	85.75	↓ 58.83	59.14	59.12
50m走 (秒)	↑ 8.04	7.99	8.07	↑ 8.87	8.80	8.88
立ち幅とび (cm)	↓ 193.77	194.54	194.60	↑ 169.17	168.57	169.35
ハンドボール投げ(m)	↓ 20.66	20.56	20.81	↓ 13.31	12.96	13.34
体力合計点※ (点)	↓ 41.88	42.11	42.11	↑ 50.25	49.97	50.02

 : 全国平均を上回る ↑ : 平成28年度三重県平均を上回る ↓ : 平成28年度三重県平均を下回る
 ※体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点

※ 実技調査結果の状況

【◎：全国平均値を上回っている】

【↑：平成28年度の本県数値を上回った】

【○：平成28年度の本県数値を上回り、かつ全国平均値との差が改善された】

【▲：平成28年度の本県数値を下回り、かつ全国平均値との差が悪化した】

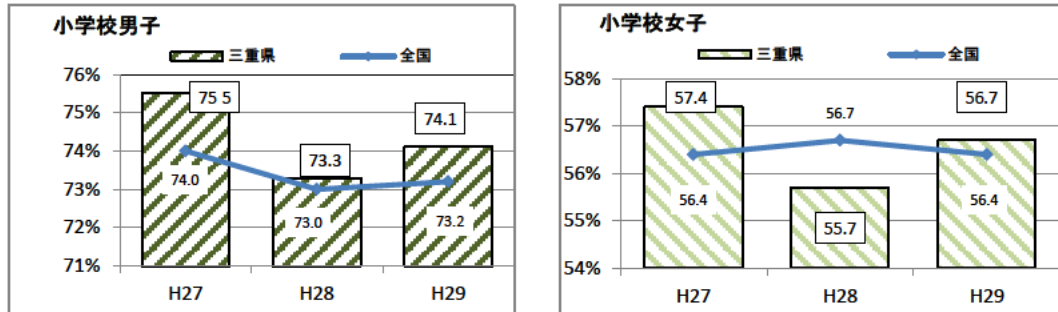
	小学校						中学校					
	男子			女子			男子			女子		
握力	◎	↑	○	◎	↑	○			▲		↑	
上体起こし		↑			↑	○		↑	○		↑	○
長座体前屈			▲			▲			▲	◎	↑	○
反復横とび	◎			◎			◎			◎		
持久走 ※	/			/				↑	○			▲
20mシャトルラン ※		↑	○		↑	○			▲			▲
50m走		↑	○		↑	○		↑			↑	
立ち幅とび		↑	○		↑	○			▲	◎		▲
ボール投げ		↑	○	◎	↑	○	◎			◎		▲
体力合計点		↑			↑	○			▲	◎	↑	

◇ 中学校では、※のうち、いずれかを実施

II 本年度の調査における本県の特徴や傾向

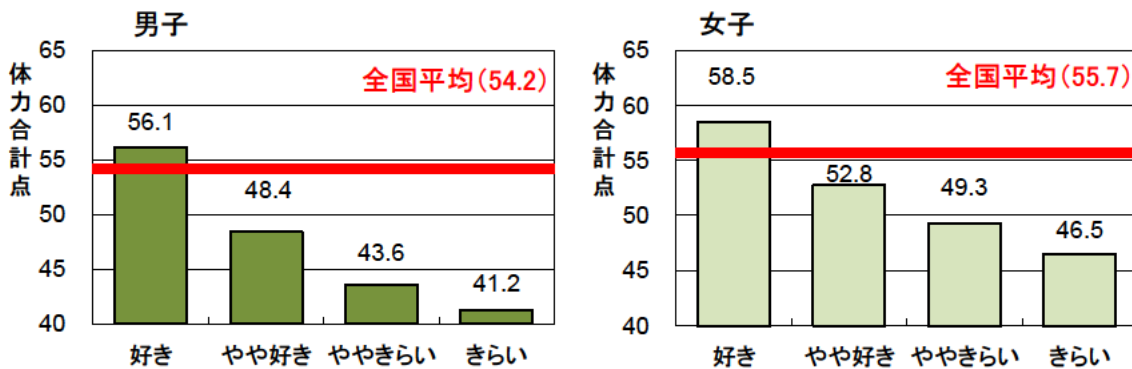
1 小学校

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。
 （「好き」「やや好き」「やや嫌い」「嫌い」のうち、「好き」と回答した割合）



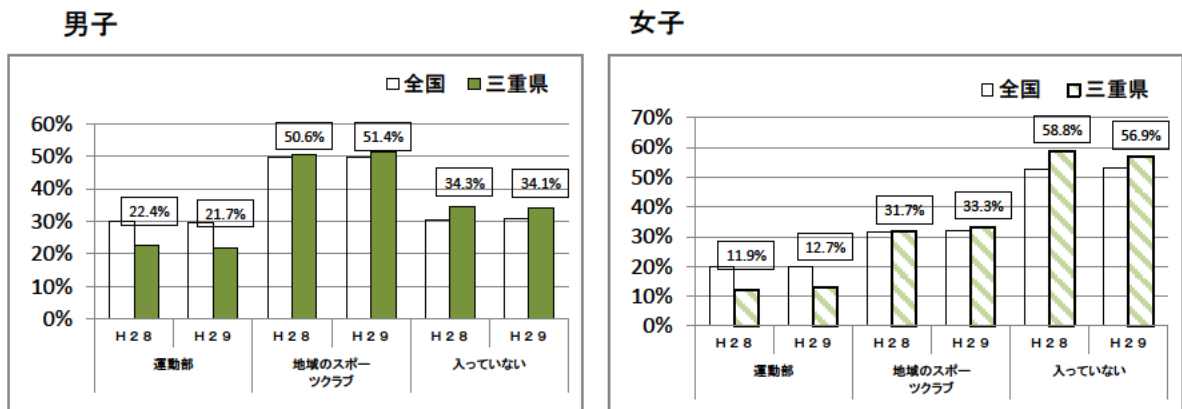
○運動やスポーツをすることが好きな子どもは全国平均よりも多い。

「運動やスポーツが好き」と体力合計点との関連



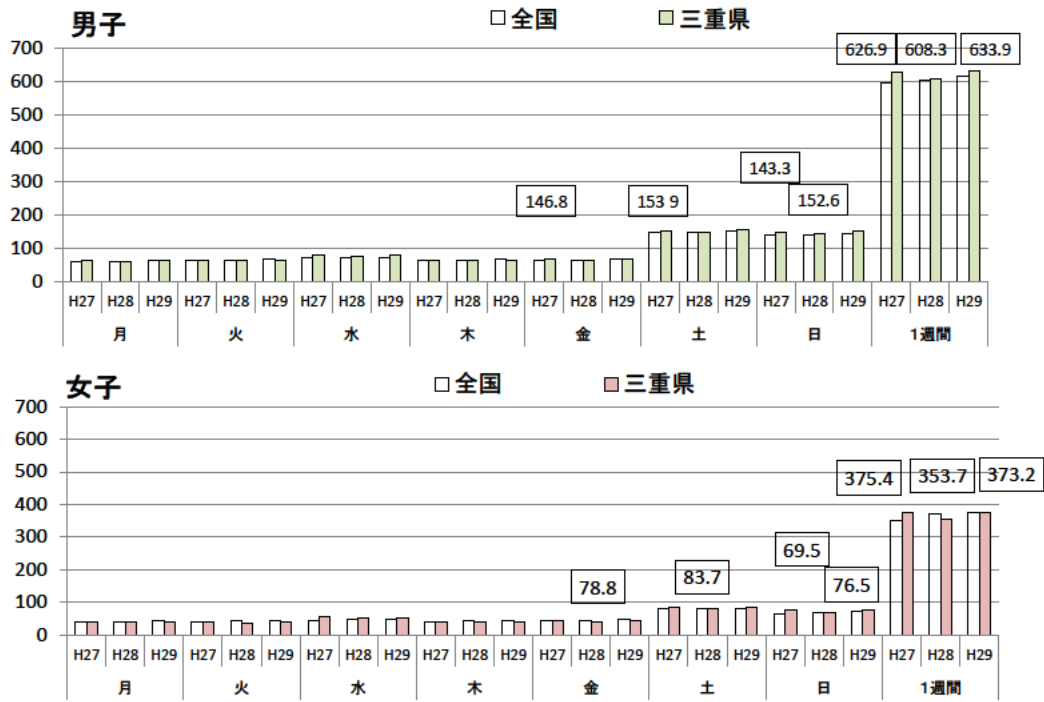
○運動やスポーツに対する意識と体力合計点の間には関連が見られる。

学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。（スポーツ少年団を含む）



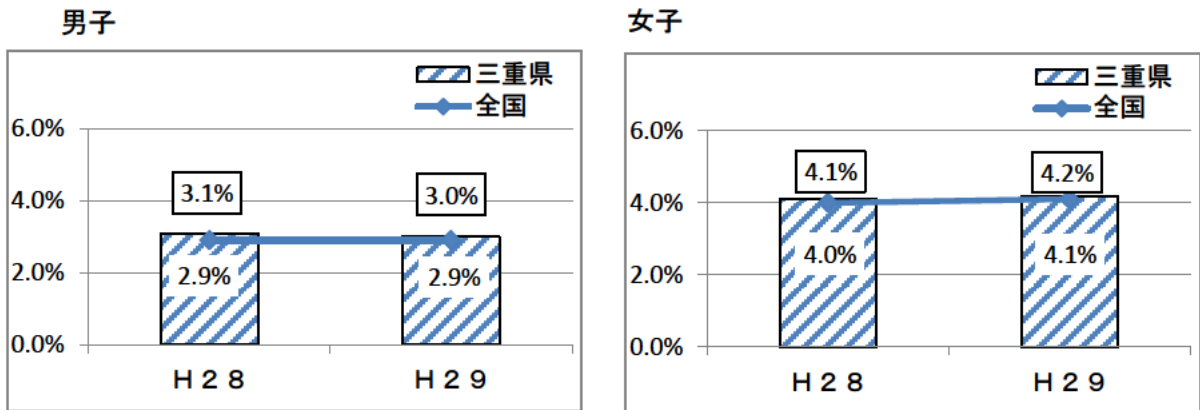
○地域のスポーツクラブへ所属している割合は全国平均よりも高い。

学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。



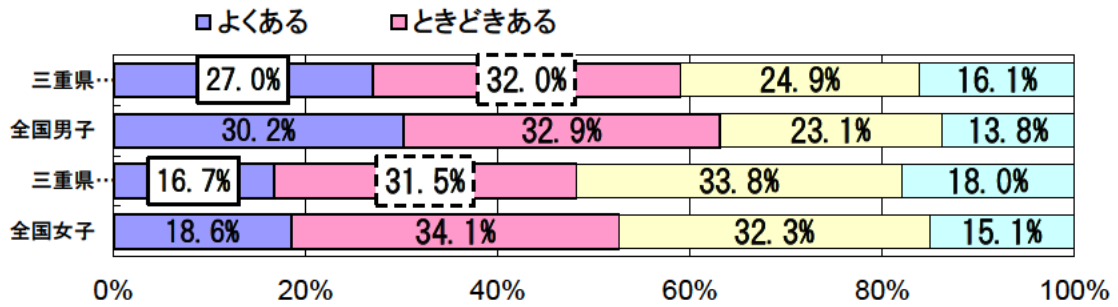
○総運動時間は、昨年度と比較し、男子は 25.6 分、女子は 19.5 分増加した。

1 週間の総運動時間 0 分の比較



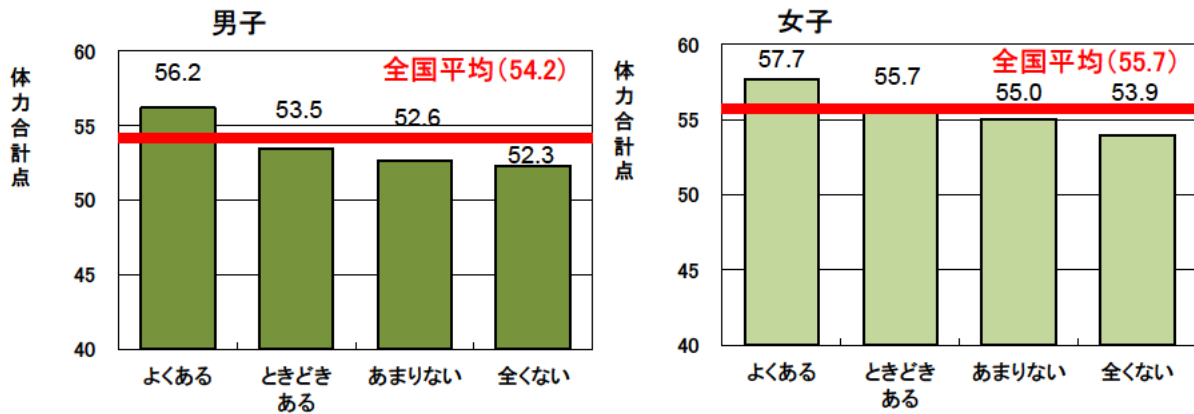
○1 週間の総運動時間が 0 分の子どもは、男子で 3.0%、女子で 4.2%となっている。

家の人から運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがありますか。



○家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられることが「よくある」、「ときどきある」の肯定的な回答する割合が全国平均と比較して男子で4.1ポイント、女子で4.5ポイント下回っている。

家の人から運動をすすめられることと体力合計点との関連

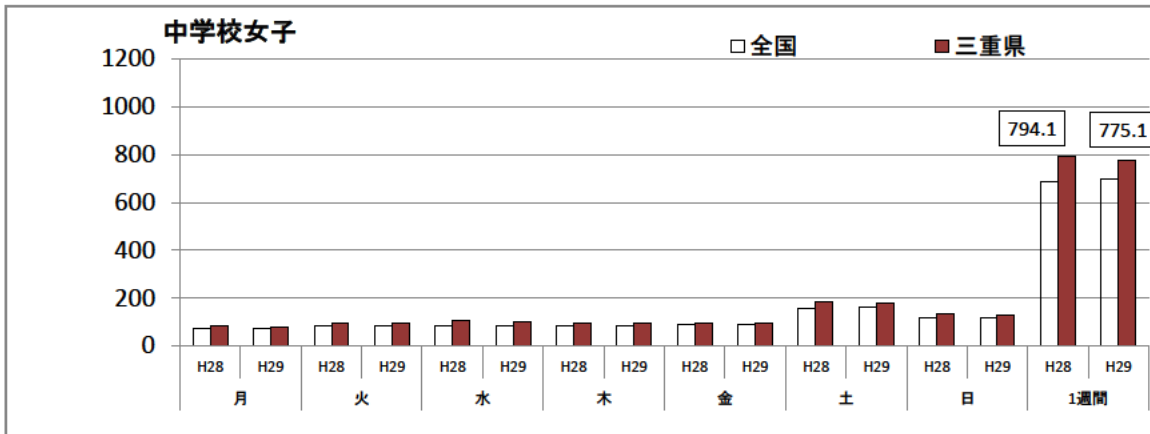
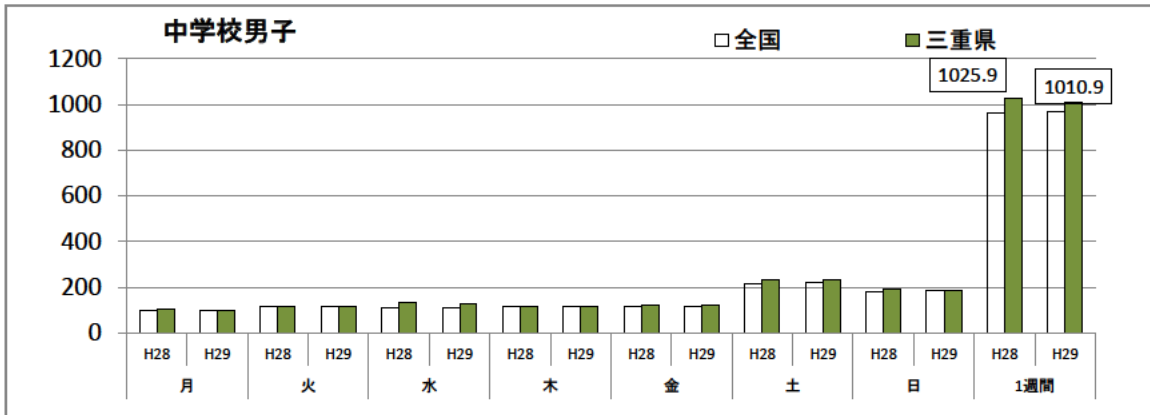


○家の人から運動をすすめられることが多い児童ほど体力合計点が高い傾向にある。

※「わたしの成長記録」(P.23)やホームページ、学校通信等で子どもたちの現在の体力の状況や食事、睡眠、テレビ等の視聴時間など生活習慣に関わる内容など、家庭へ情報を発信し、働きかけを進める必要があります。

2 中学校

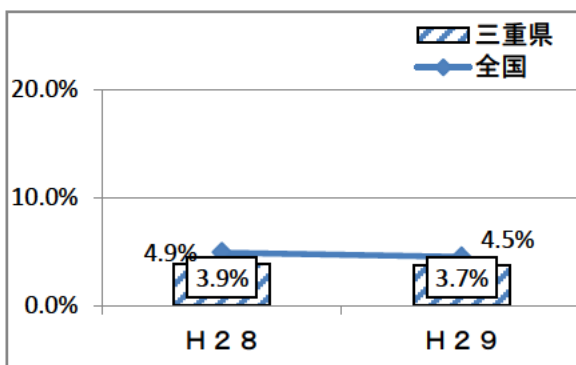
学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。



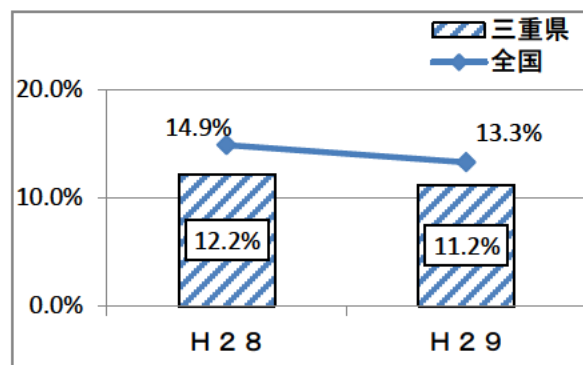
○1週間の総運動時間は、前年度と比較し、男子で15.0分、女子で19.0分減少した。

1週間の総運動時間0分の比較

男子



女子

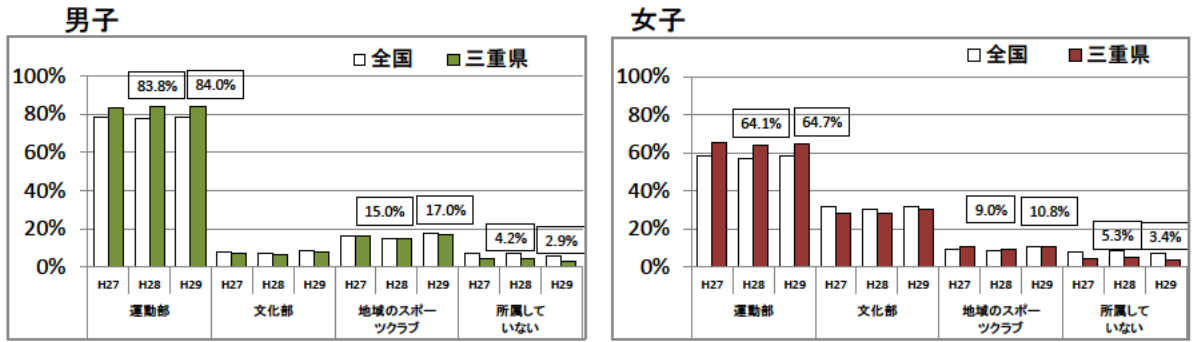


○前年度と比較し、女子において1週間の総運動時間が0分の生徒の割合が減少した。

○中学校と小学校を比較すると、特に中学女子において1週間の総運動時間が0分の割合が増加している。

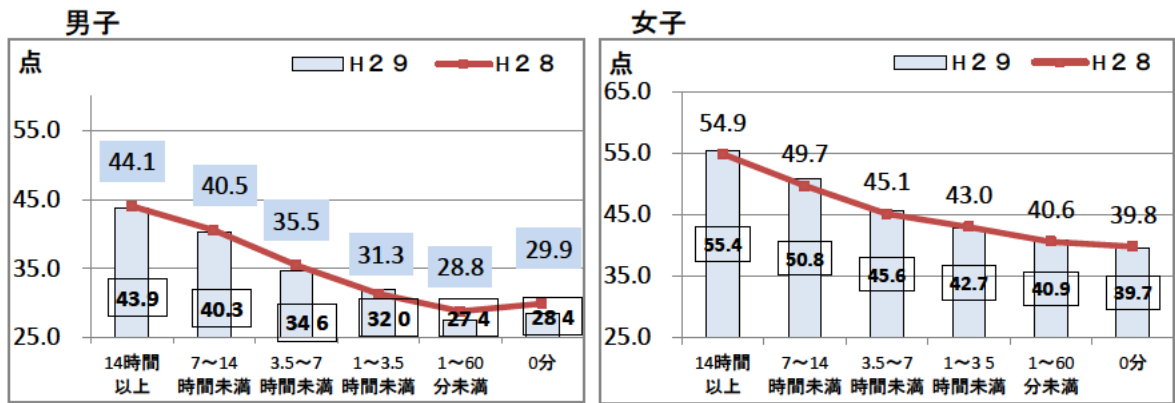
(男子：小3.0%→中3.7%、女子：小4.2%→中11.2%)

学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。(複数回答)



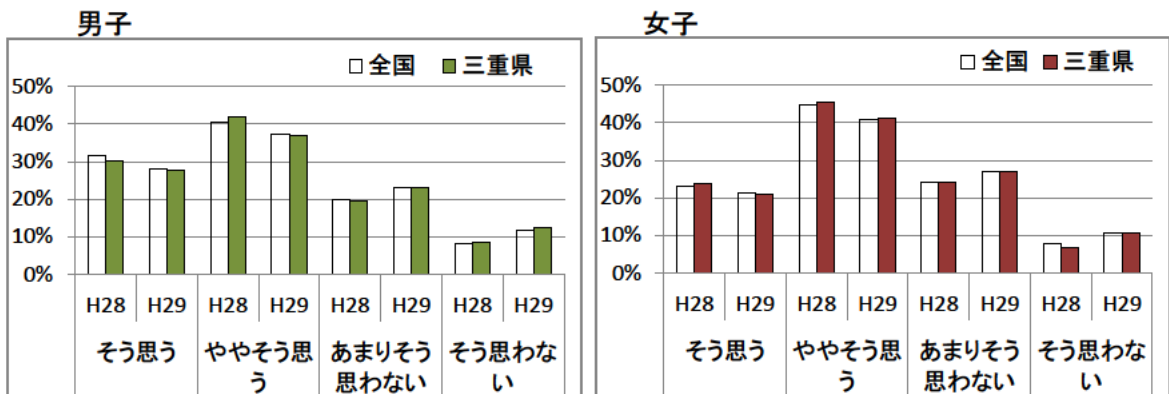
○運動部への加入率は、全国平均と比較すると男女とも加入率が高い傾向にある。

1週間の総運動時間と体力合計点との関連

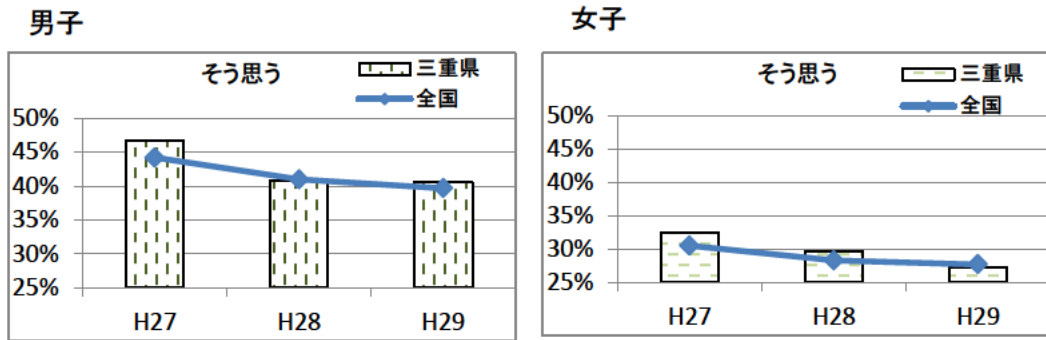


○1週間の総運動時間が多い生徒ほど体力合計点が高い傾向にある。

体育・保健体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思いますか。

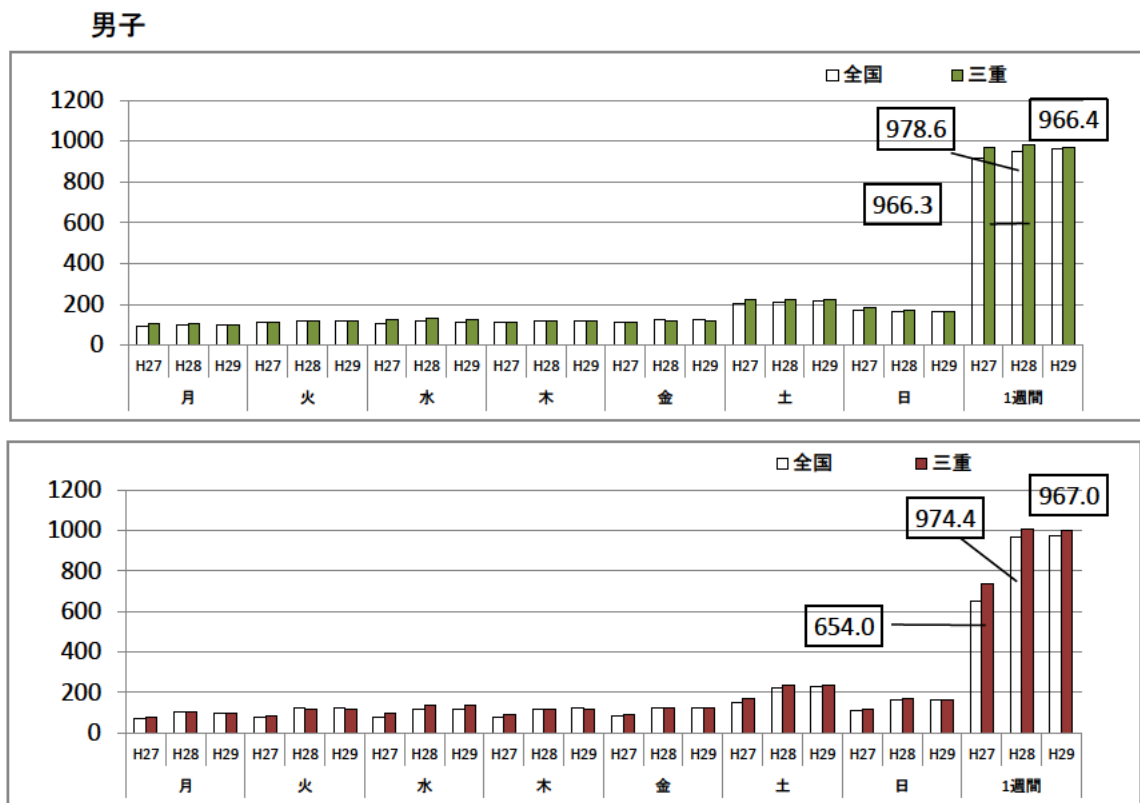


今、体育・保健体育の授業で学習している内容は、将来役に立つと思いますか。



○「体育・保健体育の授業で学んだことを、授業以外のときにも行ってみようと思いますか」、「今、体育・保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか」という質問に対して、「そう思う」と回答した割合は、昨年度比較して男女とも減少している。

部活動で1日およそどのくらいの時間、運動していますか。



○昨年度に比べて、部活動での運動時間が減少した。

※運動部の活動時間に制約がある中、子どもたちの能力や技能に応じた練習、発達段階に応じた練習など、一人ひとりに合った効果的な練習を工夫していく必要があります。

3 不得意種目の状況

本県の種目別の特徴として、平成28年度調査まで3年間連続して全国平均を下回る種目（不得意種目）が固定化されている傾向がありました。

【不得意種目】

小学校（4種目）：上体起こし、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび
 中学校（4種目）：握力、上体起こし、持久走、50m走

不得意種目の克服を重点課題と位置づけ、平成29年2月以降に開催した教員対象の研修会において、各種目の向上につながるポイントの習得を図り、各校での実践を通じた課題解決に取り組んできたところ、改善傾向がみられます。

小学校5年生		男子				女子			
		H29	H28	H27	H26	H29	H28	H27	H26
上体起こし (回)	三重県	19.11	19.03	18.78	18.22	18.19	17.77	17.48	16.96
	全国	19.92	19.67	19.58	19.56	18.81	18.60	18.42	18.26
20mシャトルラン (点)	三重県	52.01	51.17	51.06	50.02	40.90	39.42	39.44	37.63
	全国	52.24	51.89	51.64	51.67	41.62	41.29	40.69	40.29
50m走 (秒)	三重県	9.42	9.47	9.42	9.43	9.65	9.72	9.71	9.73
	全国	9.37	9.38	9.38	9.38	9.60	9.61	9.62	9.64
立ち幅とび (cm)	三重県	150.50	149.84	150.23	149.68	144.80	143.68	143.96	142.50
	全国	151.71	151.39	151.24	151.70	145.47	145.31	144.77	144.76

中学校2年生		男子				女子			
		H29	H28	H27	H26	H29	H28	H27	H26
握力 (kg)	三重県	28.60	28.64	28.90	28.60	23.70	23.69	23.39	23.56
	全国	28.89	28.91	28.93	29.00	23.82	23.75	23.68	23.70
上体起こし (回)	三重県	26.96	26.91	27.23	26.66	23.43	23.03	22.67	22.17
	全国	27.45	27.46	27.43	27.45	23.73	23.48	23.26	23.07
持久走 (秒)	三重県	395.89	397.39	394.45	398.06	292.05	289.19	293.24	292.44
	全国	391.23	391.72	392.63	392.89	287.36	288.51	290.03	290.64
50m走 (秒)	三重県	8.04	8.07	8.02	8.06	8.87	8.88	8.92	8.93
	全国	7.99	8.03	8.01	8.03	8.80	8.83	8.84	8.87

※本年度の不得意各種目の得点は、中学校2年生男子の握力と同女子の持久走を除いた他の種目は前年度と比べて同程度もしくは上昇傾向にあり、成果がみられます。これは、教員対象の研修会において、各種目の向上につながるポイントの習得を図り、各校での実践を通じた課題解決に取り組んできたことによるものと考えられます。

《課題克服に向けた県内の取組事例》

【授業における取組】

- 体育館の壁に的を設置し、玉入れ用の玉を投げ当てる。
- うまく投げられると音が出るボールを使って楽しみながら投げ方のフォームを習得する。
- 外部指導者を活用し、児童に走り方を指導してもらう。
- うんてい、鉄棒、のぼり棒等の器具を使った遊びカードを作成し、いろいろな動きを経験させる。
- 関連する種目の単元終了時に再度記録を測り、自分の記録の伸びを実感させられるように取り組む。
- 体力テストの結果をもとに、自校の弱みを認識し、夏休みに中学校区で研修会を持ち、克服に向けたサーキットトレーニングを考える。2学期から授業の始めに全学年で取り組み、2月に再度計測したところ、成果が得られた。

【授業以外における取組】

- 体育の通信を発行し、体力テストの結果や自校の苦手な種目の克服に向けた取組や、体育の授業の内容を保護者に紹介していく。
- 昼休みに児童会や委員会活動として児童が運動できるイベントを行う。
- 児童・生徒が日常的に握力計やハンドグリップを使えるよう廊下等に置いたり、体力テストのポイントをまとめて掲示する。
- 昼休みを長く設定し、児童が体を動かす時間を確保する。
- 教員が実際に体力テストを行い、そこで感じたことを実施のポイントとして子どもたちに伝える。
- 運動場や体育館を開放し、ボールや器具を使って運動する等、身体を動かす場所をつくり、児童の運動時間を増加させる。
- ジャンピングボードを設置し、縄跳びの練習で活用する。
- 文化部も含め、部活動の枠を取り払って、合同でランニングやトレーニングなどを行う。

Ⅲ 平成 29 年度全国体力、運動能力・運動習慣等調査の結果からの考察

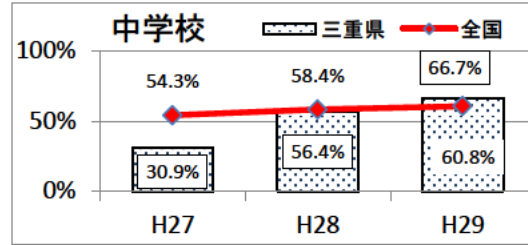
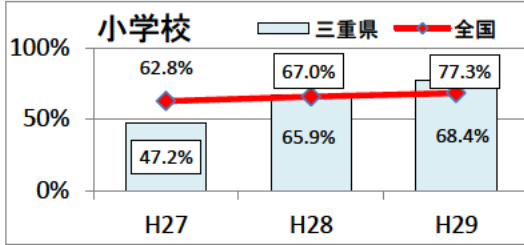
1. 本調査結果の児童・生徒質問紙調査及び学校質問紙調査から

経年変化をみることができる質問について、次のジャンルに分類し、それぞれの考察を行いました。

- (1) 学校全体での体力向上の取組
- (2) 児童・生徒の体育、保健体育に対する意識と授業の工夫・改善
- (3) 家庭への働きかけ
- (4) 健康に対する意識と生活習慣
- (5) 児童・生徒の自信や意欲等

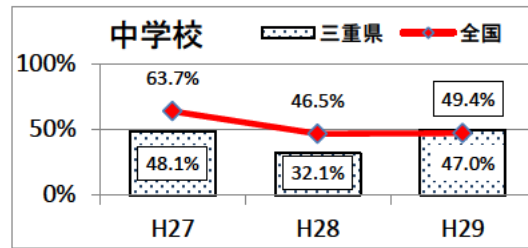
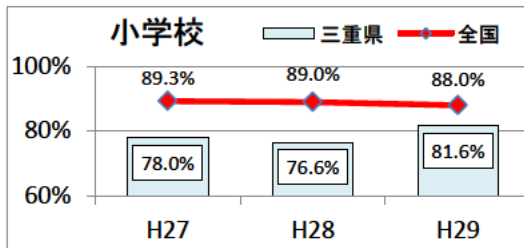
(1) 学校全体での体力向上の取組

児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を、学年としての目標と別に設定した学校



○体力向上に係わる目標設定については、小学校・中学校ともに全国平均を上回った。

体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校



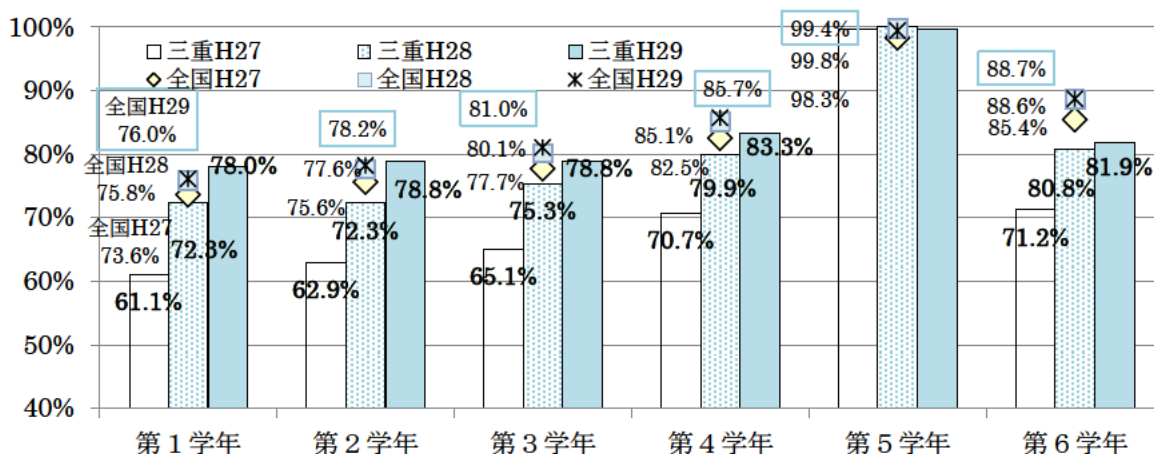
○体育の授業以外で体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校の割合は、小学校・中学校ともに昨年度よりも改善し、中学校においては全国平均を上回った。

【参考】 みえ県民カビジョン 第二次行動計画

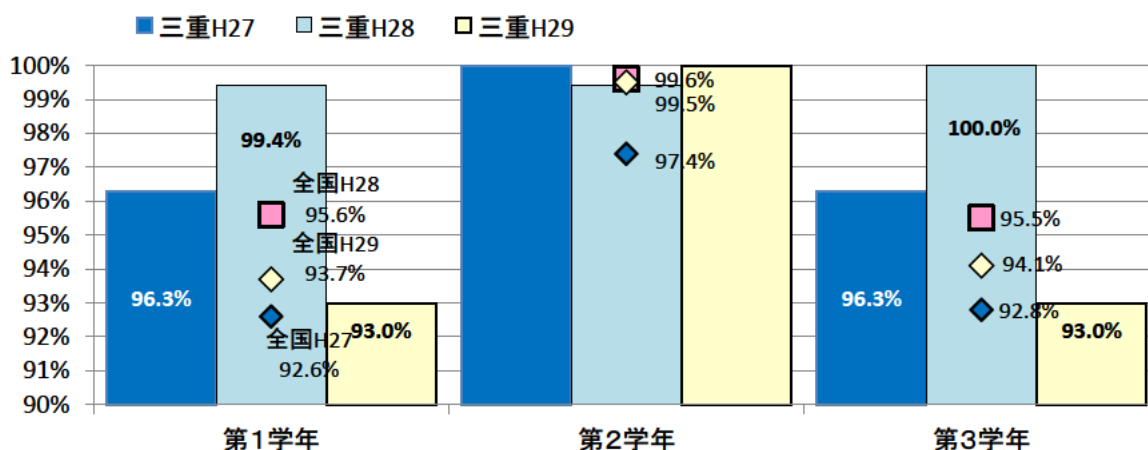
目標項目	27年度	29年度	31年度
1学校1運動プロジェクトに取り組んでいる小学校の割合 (県教育委員会学校体育・実態調査による)	現状値	目標値	目標値
	77.0%	100%	100%
〔目標項目の説明〕 「体育の授業以外で、児童の運動習慣を確立する手立てを行っている」と回答した公立小学校の割合			

体カテストを実施した学年（複数回答）

（小学校）



（中学校）



○体カテストの実施率については、小学校5年生以外の学年の実施率が年々上昇しており、中学校でも、90%以上の学校で実施されている。

*みえ子どもの元気アップシート（P41、42 参照）

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づく自校分析や、体力向上の学校全体目標や1学校1運動取組などを記載し、校内での共通理解に向けた働きかけや、研修会で他校との取組協議、情報共有、学校訪問における指導助言などのツールとなる基本資料

考察

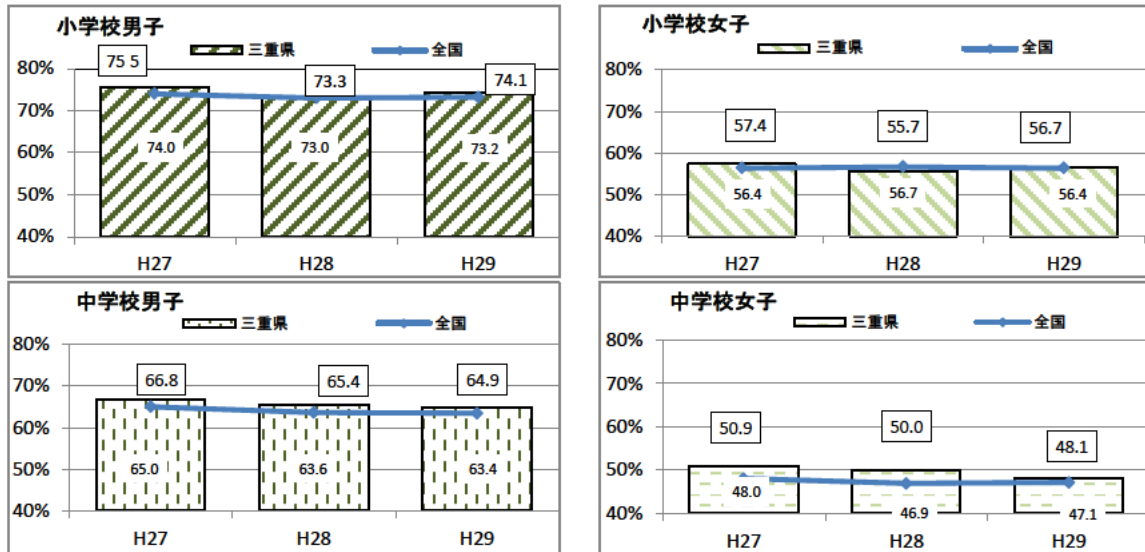
学校全体での体力向上の取組については、各小中学校で「みえ子どもの元気アップシート」を活用し、体力向上に係る学校全体での目標設定や体育・保健体育の授業以外で行う1学校1運動を進めています。

昨年度との比較で、本県の小中学校ではこれらの取組状況が改善されており、今後これらの取組が一層広がっていくことで、体力向上につながると考えられます。

(2) 児童・生徒の体育・保健体育に対する意識と授業の工夫・改善

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。

(好きと答えた割合：4択：好き、やや好き、ややきらい、きらい)



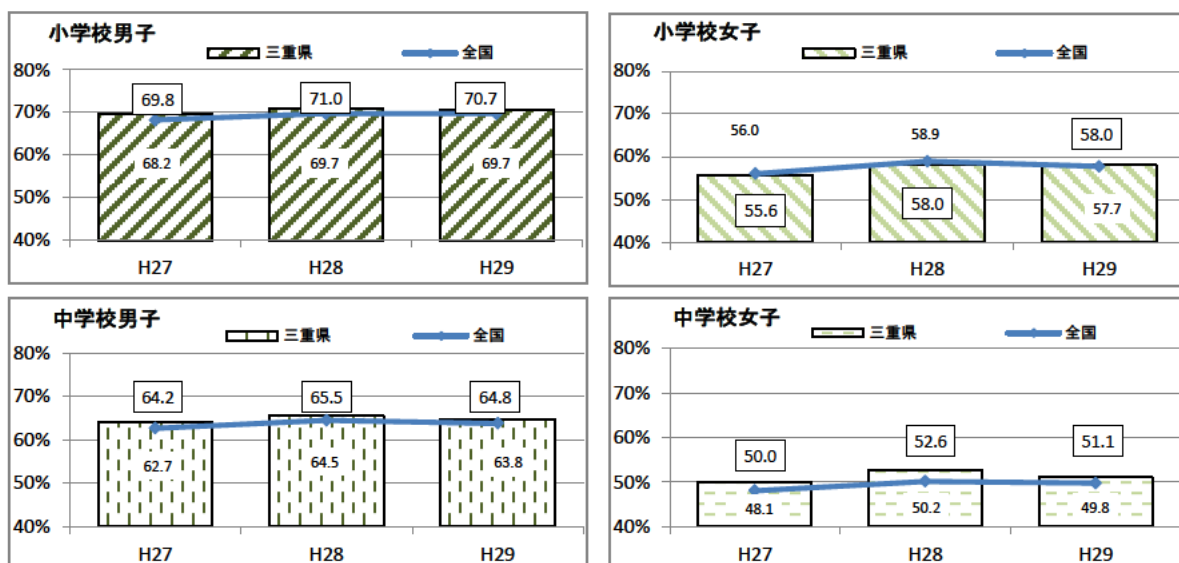
【参考】三重県教育ビジョン

個別指標	27年度	29年度	31年度
運動やスポーツをすることが好きな子どもたちの割合（※2）	現状値	実績値	目標値
	88.3%	87.0%	89.2%

※2 「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対して、肯定的な回答（好き、やや好き）をした児童生徒の割合。

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。

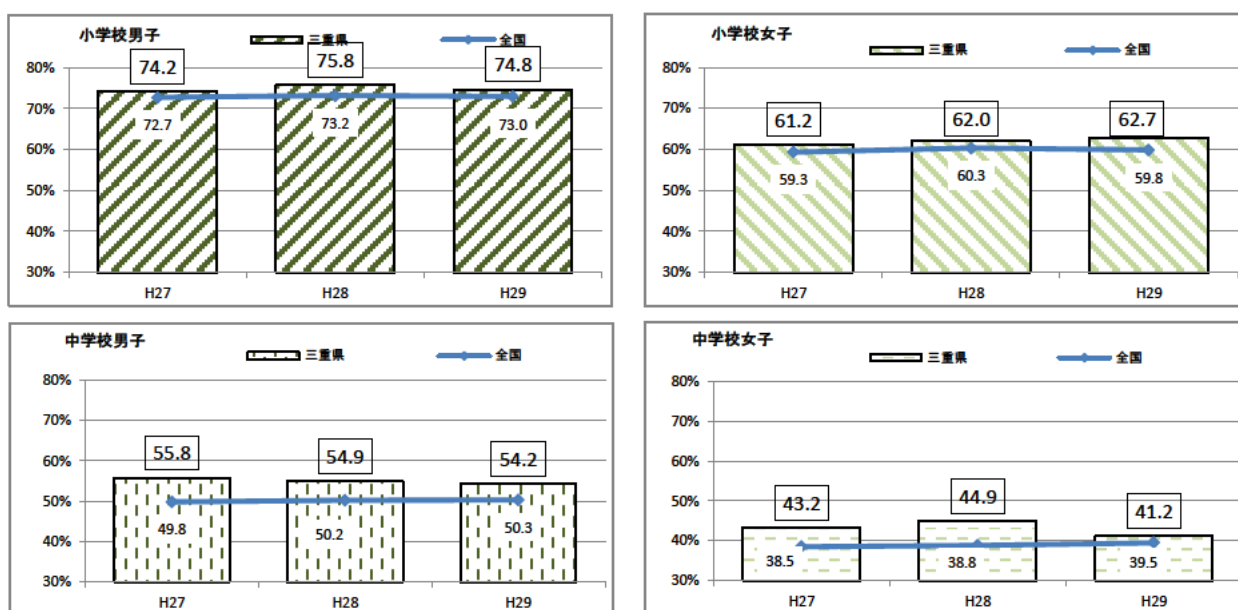
（大切と答えた割合：4 択：大切、やや大切、あまり大切ではない、大切ではない）



○運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを好きと思うことや、大切なものと考えている児童・生徒の割合は、小学生女子は全国平均と同程度であるが、小学生男子及び中学生男子・女子は全国平均より高い状況である。

体育・保健体育の授業は楽しいですか。

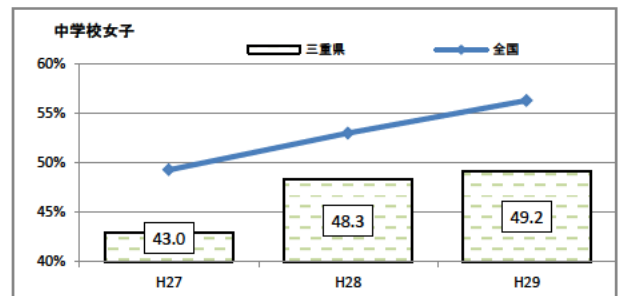
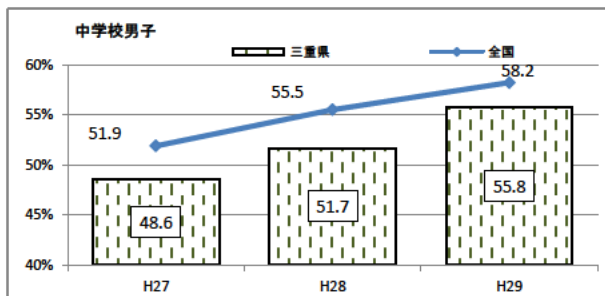
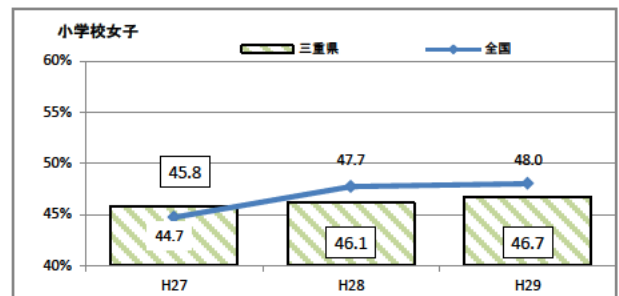
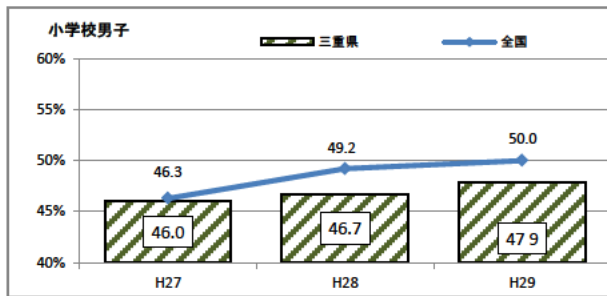
（楽しいと答えた割合：4 択：楽しい、やや楽しい、あまり楽しくない、楽しくない）



○体育の授業は楽しいと答えた児童・生徒の割合は、全国平均値と比較して高い。

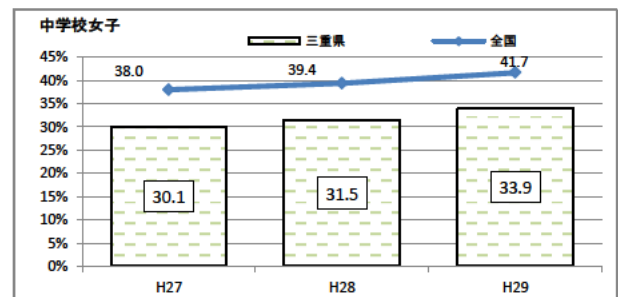
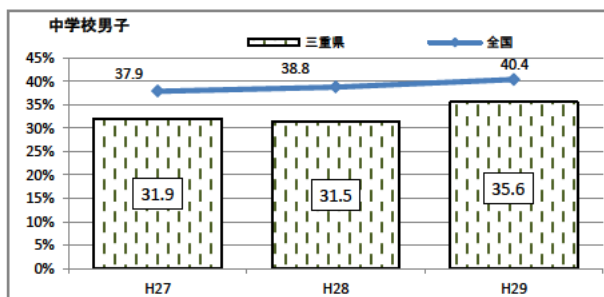
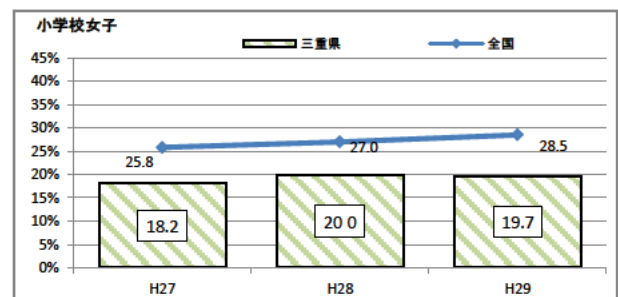
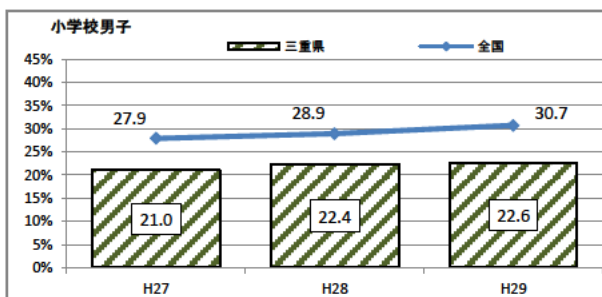
ふだんの体育・保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていますか。

（示されていると答えた割合：4択：示されている、ときどき示されている、あまり示されていない、示されていない）



ふだんの体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか。

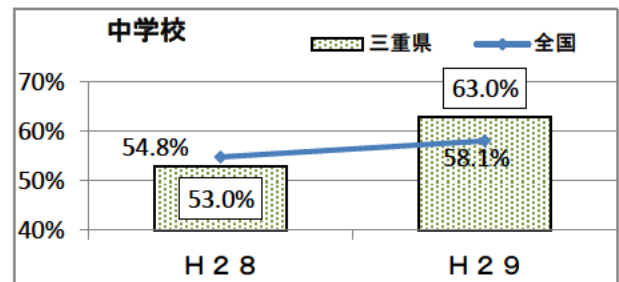
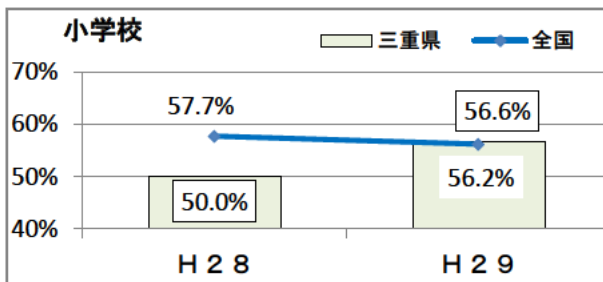
（行っていると答えた割合：4択：行っている、ときどき行っている、あまり行っていない、行っていない）



○「授業の目標が示されている」「振り返る活動を行っている」と答えた児童・生徒の割合は、年々上昇傾向にあるものの、全国平均値と比較すると低い。

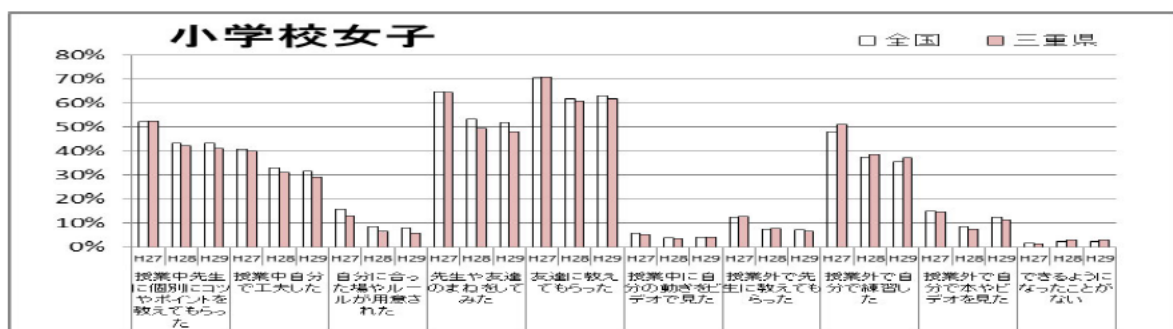
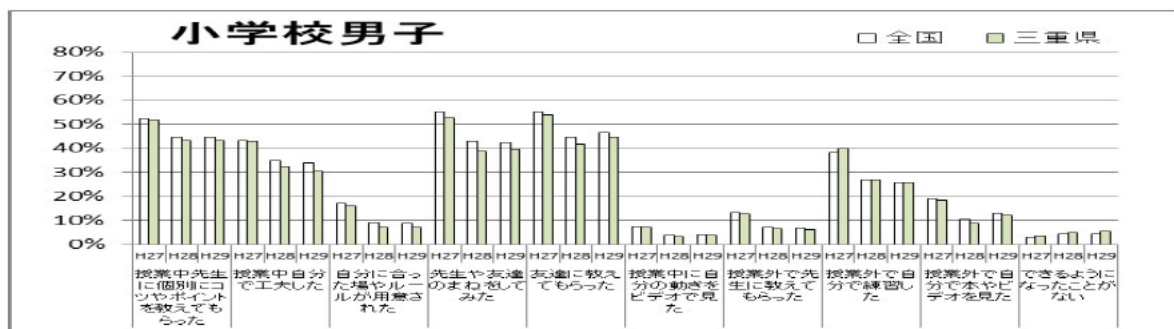
運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を現在行っていますか（行う予定はありますか）。

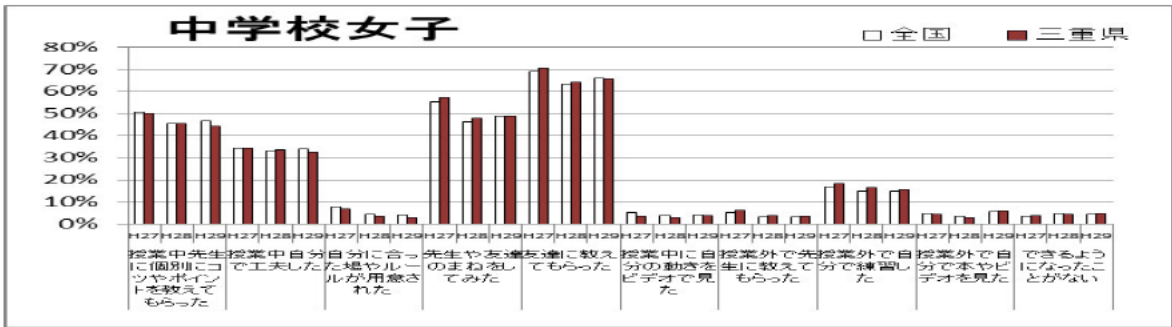
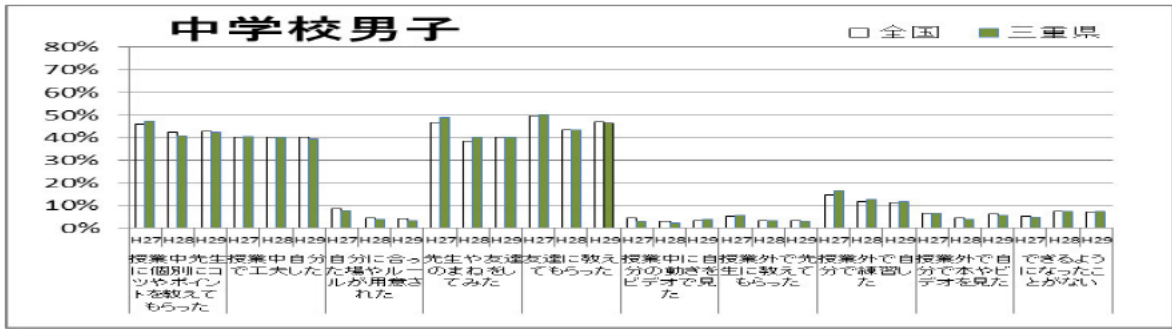
（行っていると答えた学校の割合：3 択：行っている、行う予定である、行っていない）



○運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向にある児童生徒向けの取組を行っている学校は、小学校・中学校ともに増加した。

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。（複数回答）

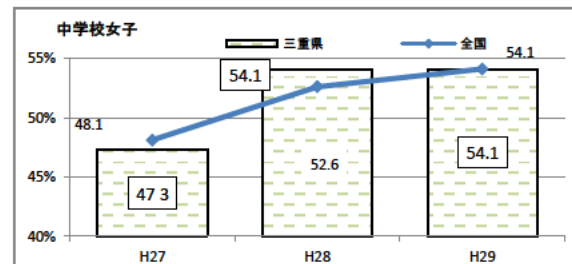
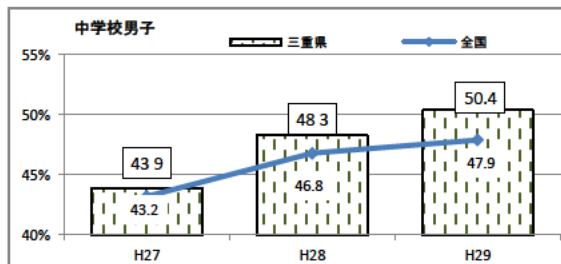
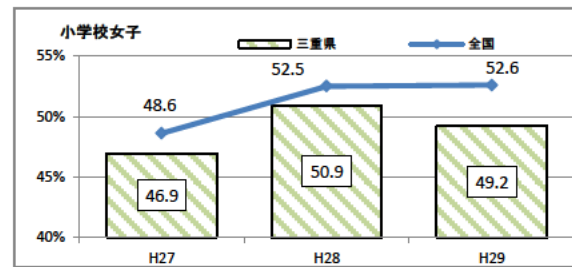
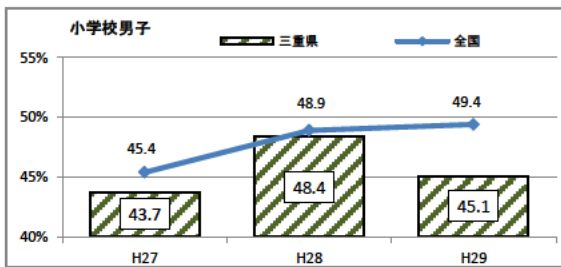




- 小学生・中学生ともに「友達に教えてもらった」という回答が1位となっている。
- 次いで「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」、「先生や友達のみねをしてきた」という回答が多い。

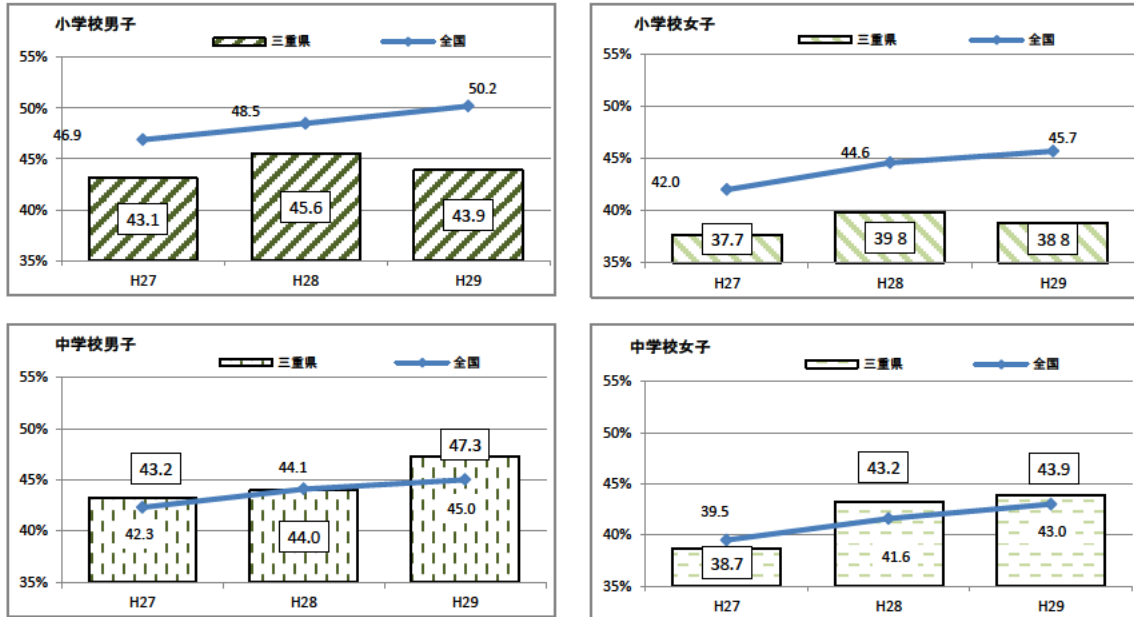
ふだんの体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。

(行っていると答えた割合：4択：行っている、ときどき行っている、あまり行っていない、行っていない)



ふだんの保健体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。

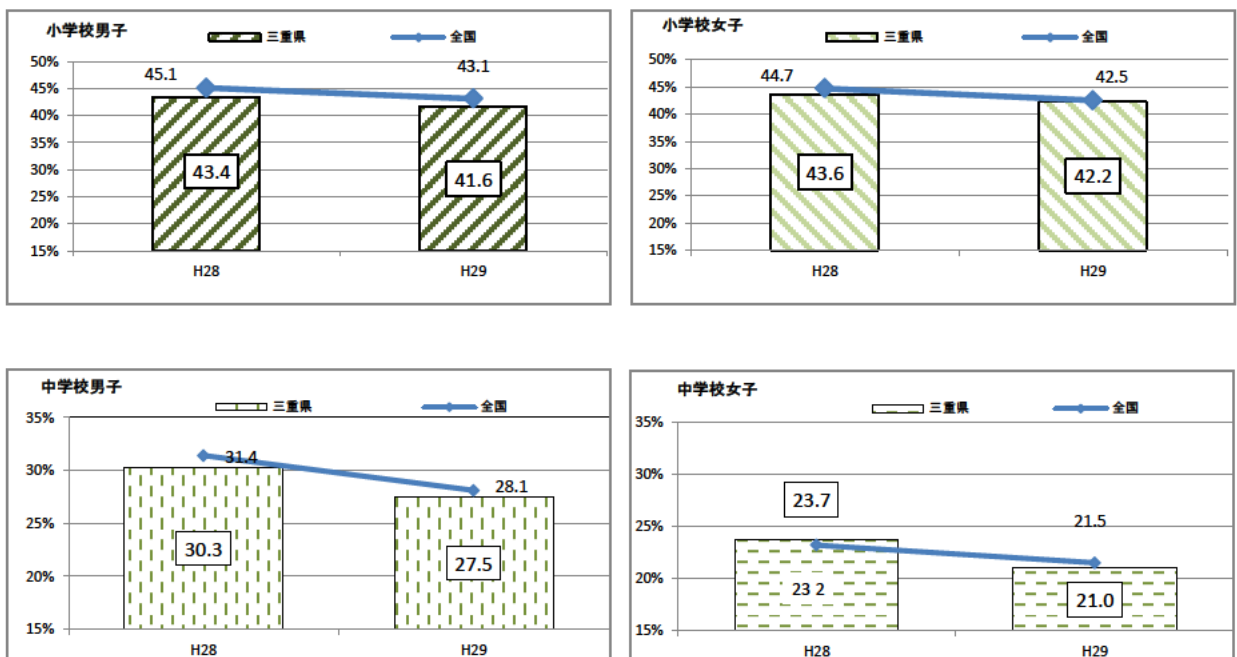
(行っていると答えた割合：4択：行っている、ときどき行っている、あまり行っていない、行っていない)



○仲間同士で責任を果たすことや、話し合っって協力するなど協働する取組は、小学校で全国と比較して低い。中学校では年々増加傾向にあり、全国平均を上回っている。

体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思いますか。

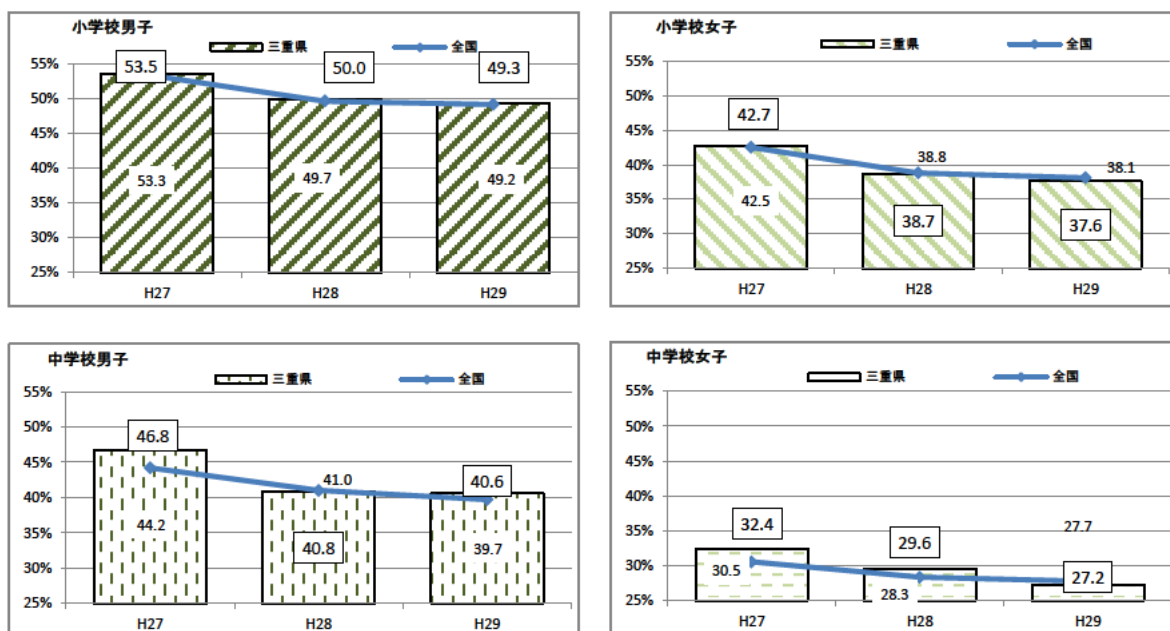
(そう思うと答えた割合：4択：そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない)



○「体育の授業で学んだことを授業以外の時に行ってみよう」と思う割合は減少傾向にあり、中学校では小学校よりも少ない。

今、体育・保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。

(そう思うと答えた割合：4択：そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない)



○授業で学習したことを将来に活かしたり、役に立つと考えている児童・生徒は、全国平均と同様に減少傾向にある。

考察

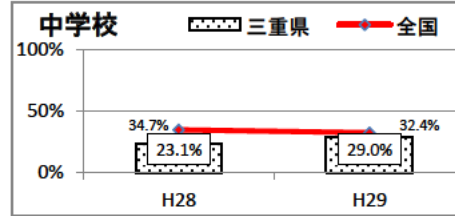
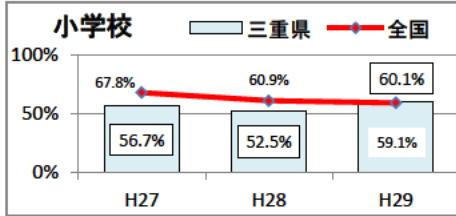
運動やスポーツを「好き」や「大切」と思う割合は高い傾向にありますが、小学校と比べて中学校になるとその割合が減少しています。体育・保健体育の授業が楽しいと思う割合についても同様な傾向です。

できたときの喜びを味わえるよう、授業での教員のねらいなどを子どもたちに理解できるような指導方法へと改善する必要があります。子どもたちが「運動やスポーツが好き」や「体育・保健体育の授業は楽しい」と思う割合が高い、という本県の強みを活かし、楽しみながら体力の弱みを克服できるような授業の工夫改善を図ることが体力向上につながると考えられます。

(3) 家庭への働きかけ

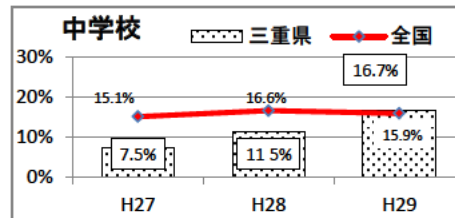
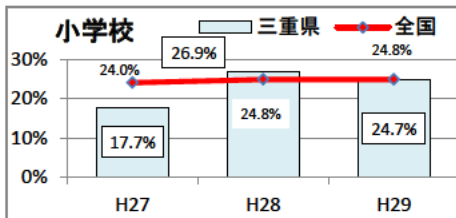
小学校第4学年の児童（中学校第1学年の生徒）の家庭に対して、子供の体力向上に係る説明・呼びかけ等を行いましたか。

（行ったと答えた学校の割合：2択：行った、行わなかった）



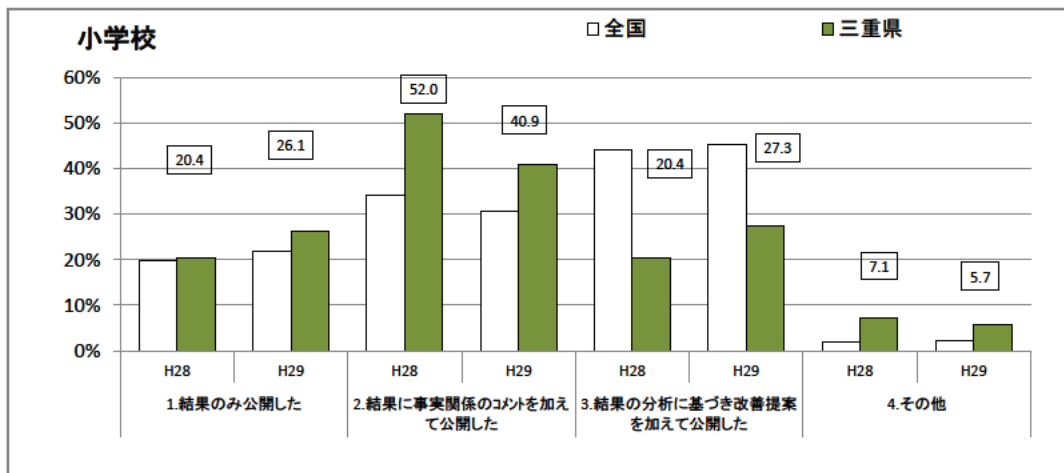
学校のホームページや学校だより等で、平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を公開しましたか。

（公開したと答えた学校の割合：2択：公開した、公開していない）



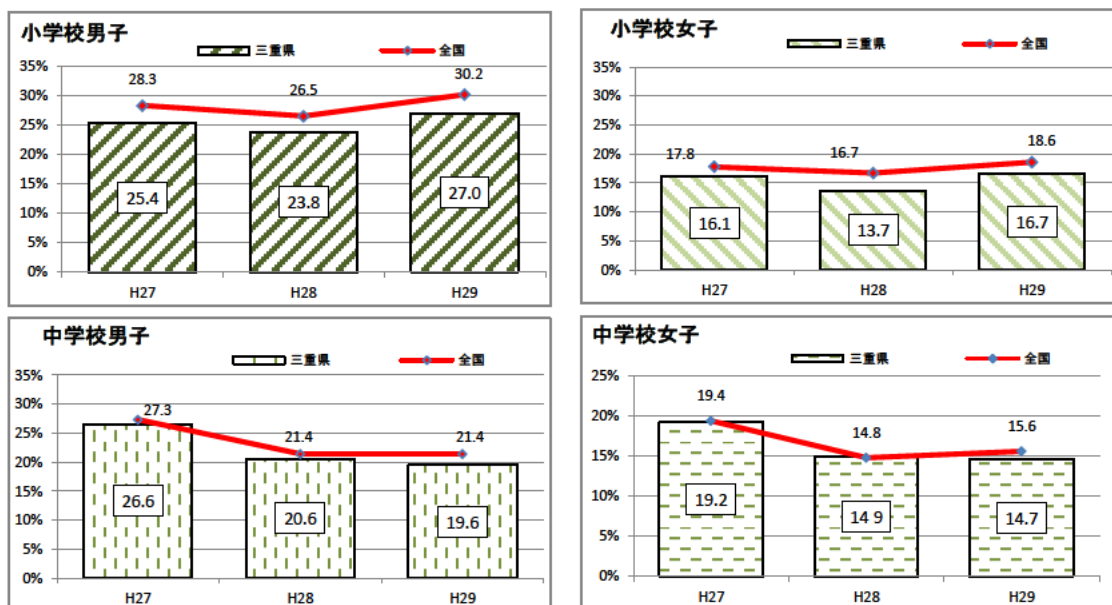
○家庭への呼びかけ、調査結果の公開については、小学校で全国平均と同程度の実施状況となっている。中学校は、年々増加傾向にある。

「公開した」と回答した場合、どのように公開しましたか。（小学校のみ）（4択）



家の人から運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがありますか。

（よくあると答えた割合：4択：よくある、ときどきある、あまりない、全くない）



○小学生では、よくあると答えた割合が全国平均値より低く、中学校は低下傾向にある。

考察

家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられると体力合計点が上昇する傾向があります。(P. 5) このため、子どもたちの運動習慣の改善には家庭の協力を得ることが効果的であり、「わたしの成長記録」やホームページ、学校通信等による学校からの情報発信は重要な役割を担うと考えられます。

体力調査の結果に、アドバイスを加えたり、食事、睡眠、テレビ等の視聴時間など生活習慣に関わる内容を伝え、子どもたちの運動習慣の改善に向けて家庭の協力を得ることで、体力向上につながると考えられます。

【参考】わたしの成長記録

体力テストの結果をわたしの成長記録として、児童・生徒だけでなく保護者へもフィードバックし、体力向上にむけた理解・協力を得られるようにします。

わたしの成長記録

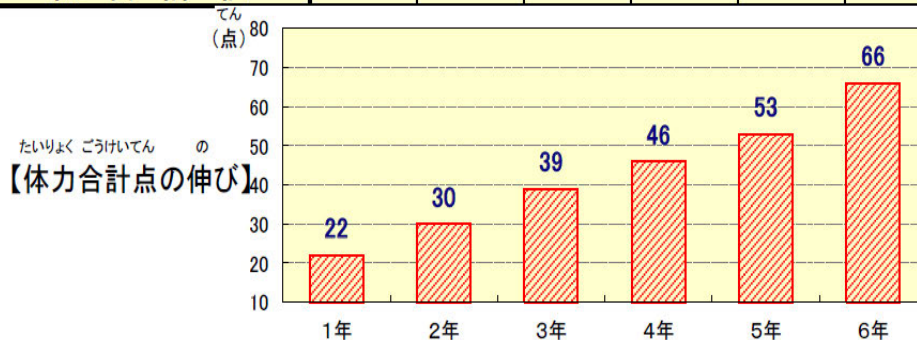
(新体力テストの記録)



6	年	B	組
6	席		
三重 太郎			

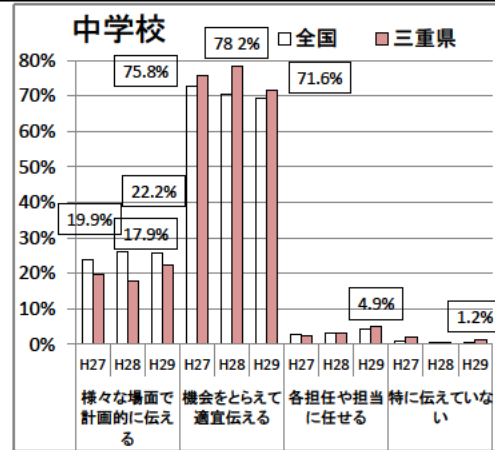
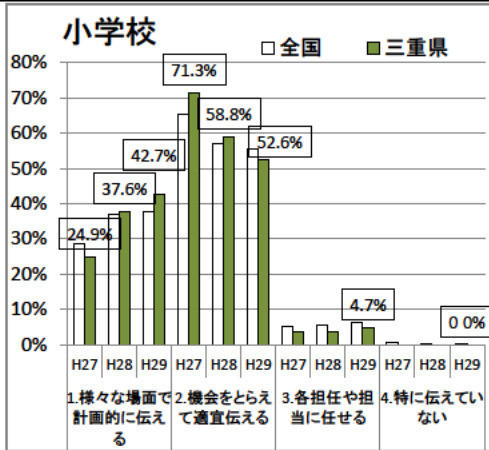


No.	新体力テスト	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
		A組	B組	A組	C組	A組	B組	
		9席	2席	1席	2席	9席	6席	
1	握力	記録	6 kg	9 kg	13 kg	15 kg	18 kg	22 kg
		得点	2点	4点	5点	6点	7点	8点
2	上体起こし	記録	14回	9回	7回	12回	12回	23回
		得点	5点	4点	3点	5点	5点	9点
3	長座体前屈	記録	25 cm	24 cm	20 cm	20 cm	28 cm	30 cm
		得点	4点	4点	3点	3点	5点	6点
4	反復横とび	記録	22点	23点	30点	39点	40点	51点
		得点	3点	3点	5点	7点	7点	10点
5	20mシャトルラン	記録	15回	20回	35回	40回	42回	44回
		得点	4点	4点	6点	6点	6点	6点
6	50m走	記録	12.6秒	12.2秒	9.1秒	8.8秒	8.5秒	8.0秒
		得点	2点	3点	7点	8点	8点	10点
7	立ち幅とび	記録	90 cm	118 cm	147 cm	136 cm	174 cm	173 cm
		得点	1点	4点	6点	5点	8点	8点
8	ソフトボール投げ	記録	3 m	11 m	12 m	23 m	25 m	38 m
		得点	1点	4点	4点	6点	7点	9点
体力合計点			22点	30点	39点	46点	53点	66点
総合評価			D	D	C	C	C	B



(4) 健康に対する意識と生活習慣

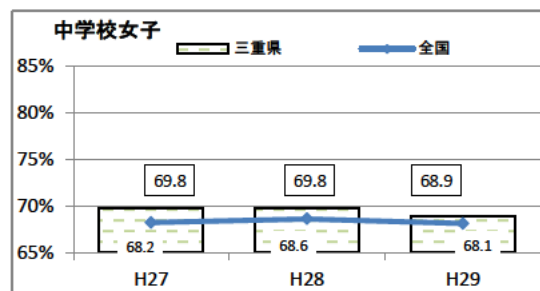
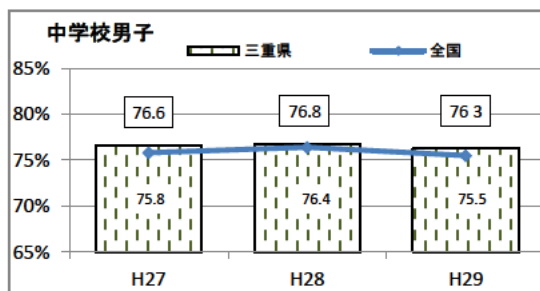
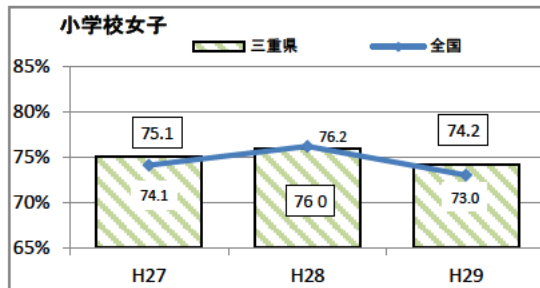
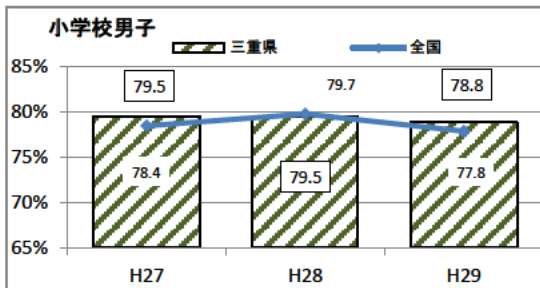
健康の三原則（運動、栄養（食事）、睡眠）の大切さを、児童に伝えていますか。



○小学校において、健康の三原則の大切さを計画的に伝えている割合が増加している。

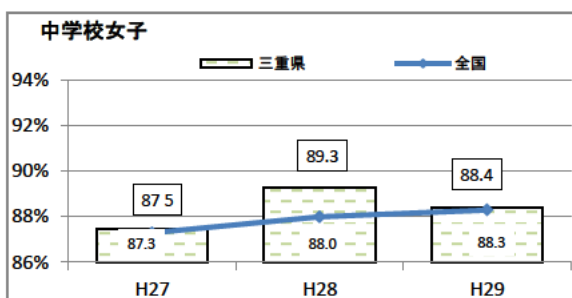
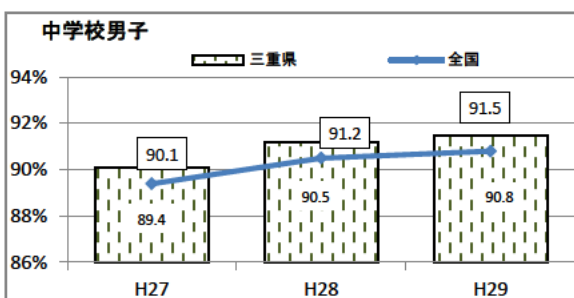
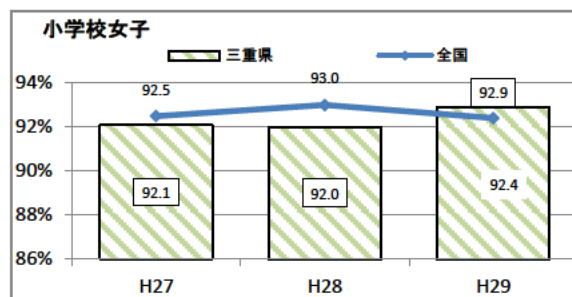
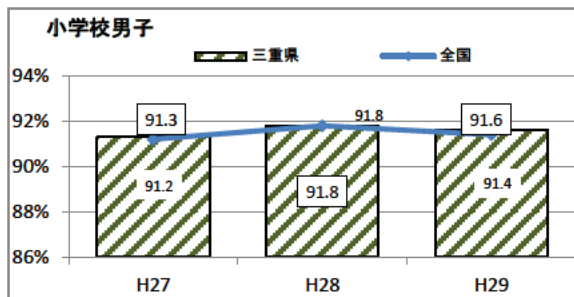
あなたが健康であるために、運動（体を動かす遊びをふくむ）は、どのくらい大切だと考えていますか。

(大切と答えた割合：4 択：大切、やや大切、あまり大切ではない、大切ではない)



あなたが健康であるために、食事をしっかり取ることは、どのくらい大切だと考えていますか。

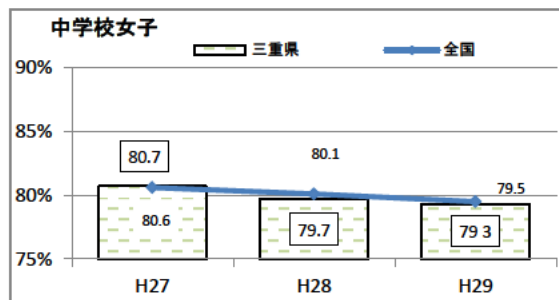
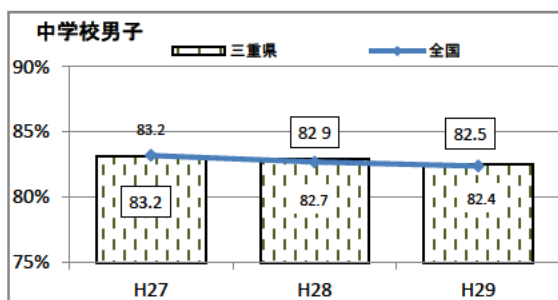
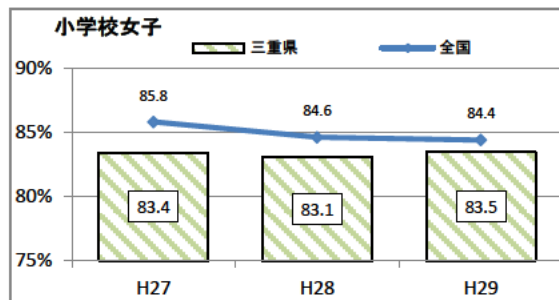
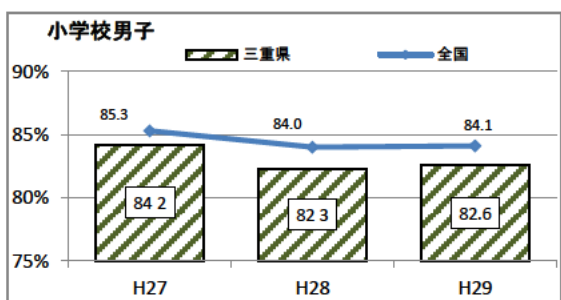
(大切と答えた割合：4択：大切、やや大切、あまり大切ではない、大切ではない)



○健康であるために運動や食事が大切と考える割合は、小中学生とも約9割程度となっている。

朝食は毎日食べますか（学校が休みの日もふくめます）。

(毎日食べると答えた割合：4択：毎日食べる、食べない日もある、食べない日が多い、食べない)



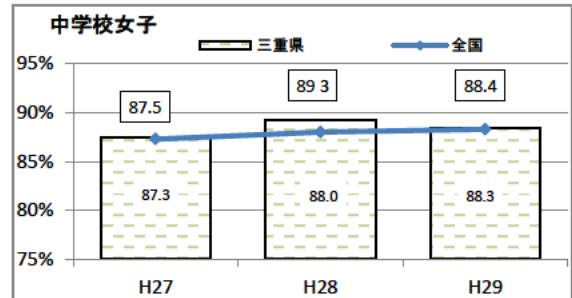
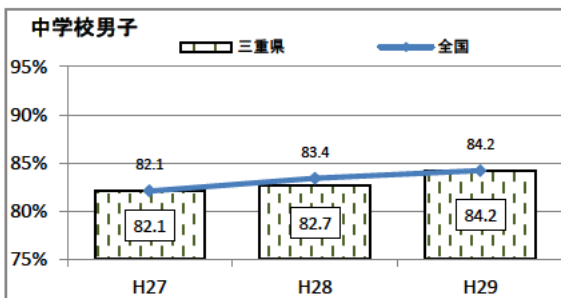
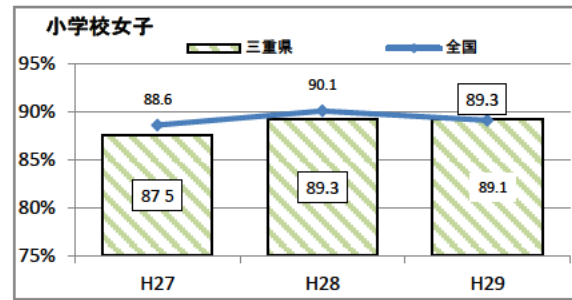
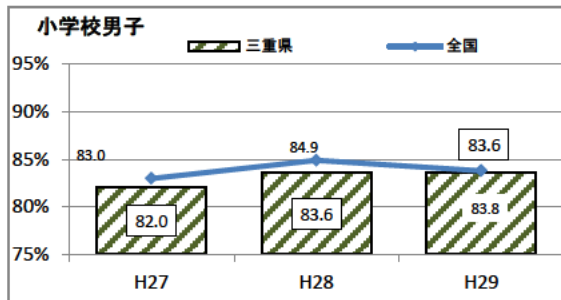
○朝食を毎日食べる小中学生の割合は8割程度となっている。

【参考】みえ県民カビジョン第二次行動計画・三重県教育ビジョン

目標項目	27年度	29年度	31年度
朝食を毎日食べている子どもたちの割合 (全国学力・学習状況調査による。対象は 小学6年生及び中学3年生)	現状値	目標値	目標値
		実績値	
	小86.5%	小88.5%	小90.5%
	中84.0%	中86.0%	中88.0%
【目標項目の説明】 「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して「食べている」と回答した児童生徒の割合			

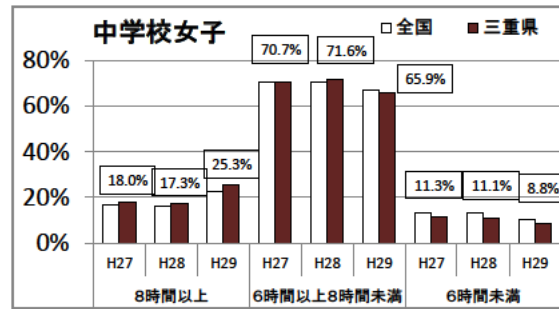
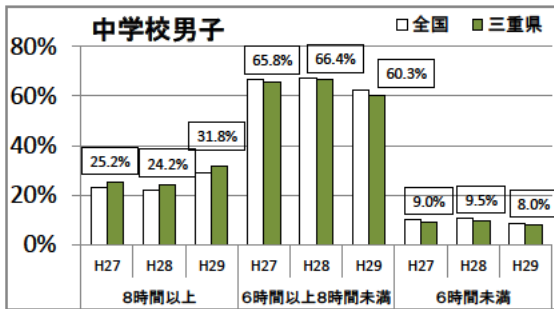
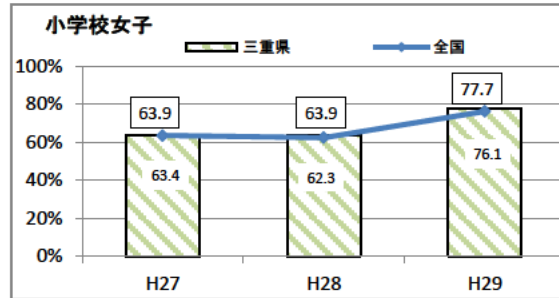
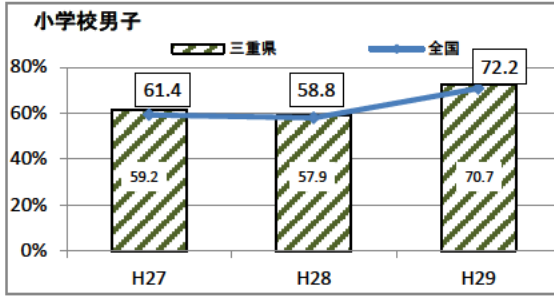
あなたが健康であるために、よく寝ることは、どのくらい大切だと考えていますか。

(大切と答えた割合：4択：大切、やや大切、あまり大切ではない、大切ではない)



○睡眠に対する意識は、中学生男子において向上がみられる。

毎日どのくらい寝ていますか。(小学生は、8時間以上寝ていると答えた割合。)

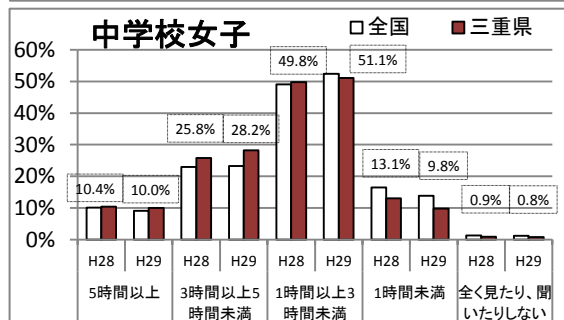
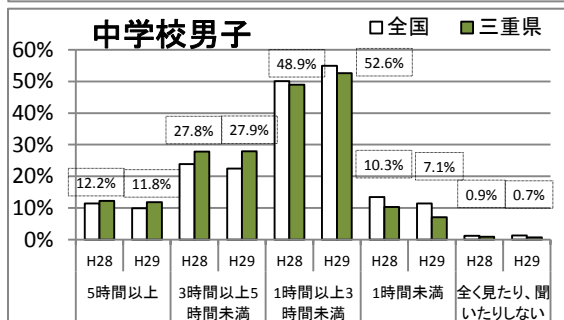
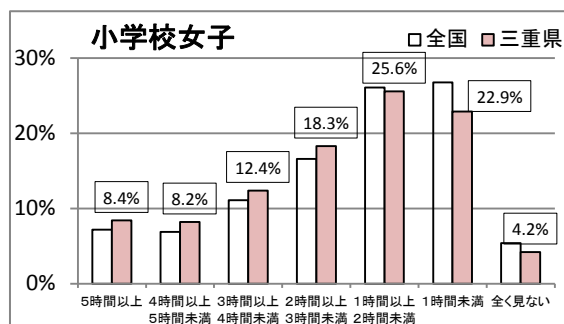
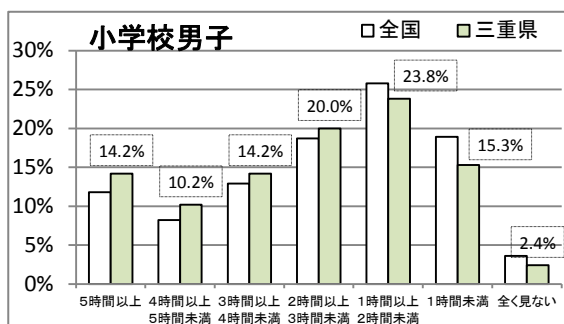


○8時間以上寝ている割合は、小中学生において改善した。

【参考】みえ県民カビジョン第二次行動計画・三重県教育ビジョン

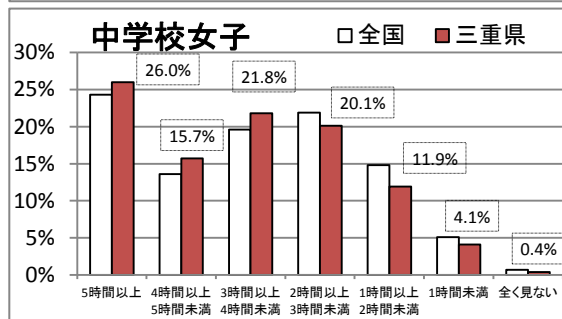
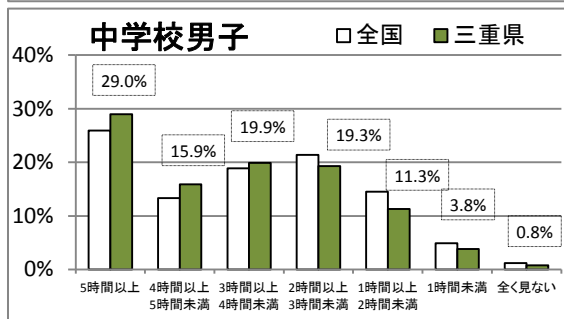
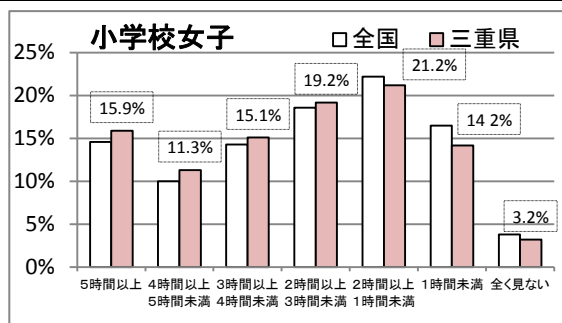
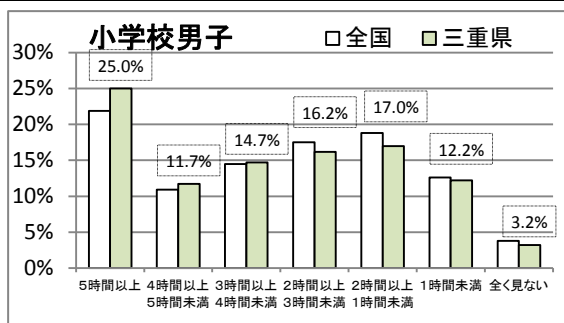
目標項目	27年度	29年度	31年度
	現状値	目標値	実績値
毎日、規則正しく寝起きしている子どもたちの割合（全国学力・学習状況調査による。対象は小学6年生及び中学3年生）	小学生 寝る37.6% 起きる59.3% 中学生 寝る31.0% 起きる55.7%	小学生 寝る40.2% 起きる61.5%	小学生 寝る43.0% 起きる64.0% 中学生 寝る36.0% 起きる61.0%
		中学生 寝る33.4% 起きる58.3%	
【目標項目の説明】	「同じくらいの時間に寝ますか、起きますか」という質問に対して「寝る、起きる」と回答した児童生徒の割合		

平日（月から金曜日）、学校から帰った後、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



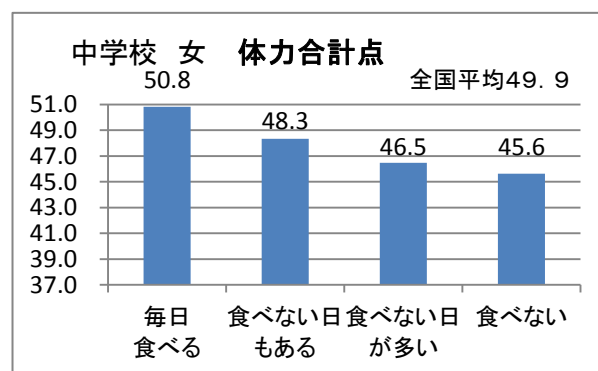
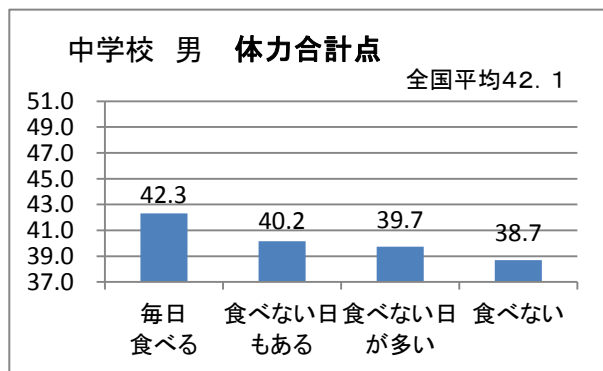
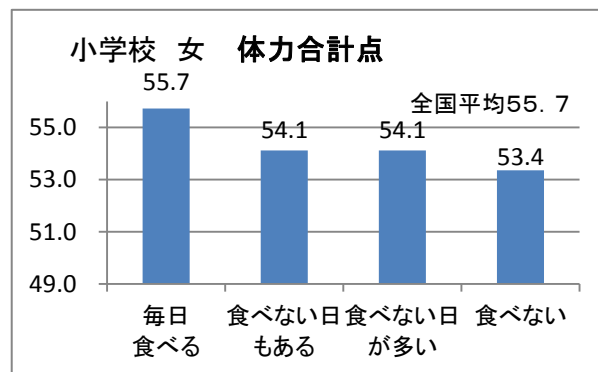
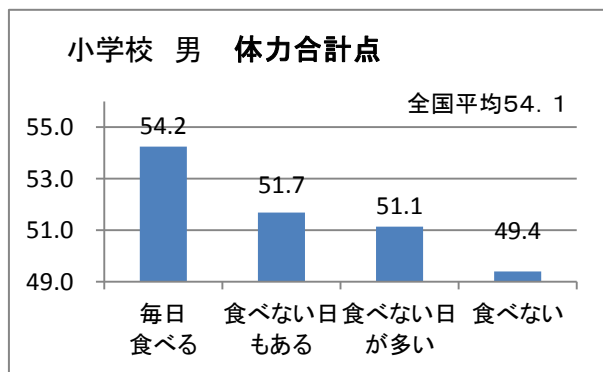
- 小学生は、2時間以上で全国平均値より高い割合になっている。
- 中学生は、3時間以上で全国平均値より高い割合になっている。

学校が休みの日（土曜日や日曜日）に、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



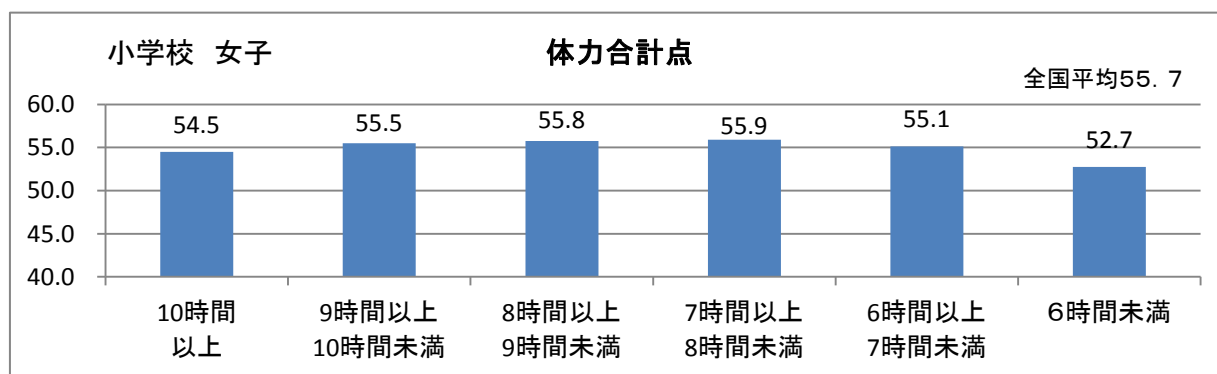
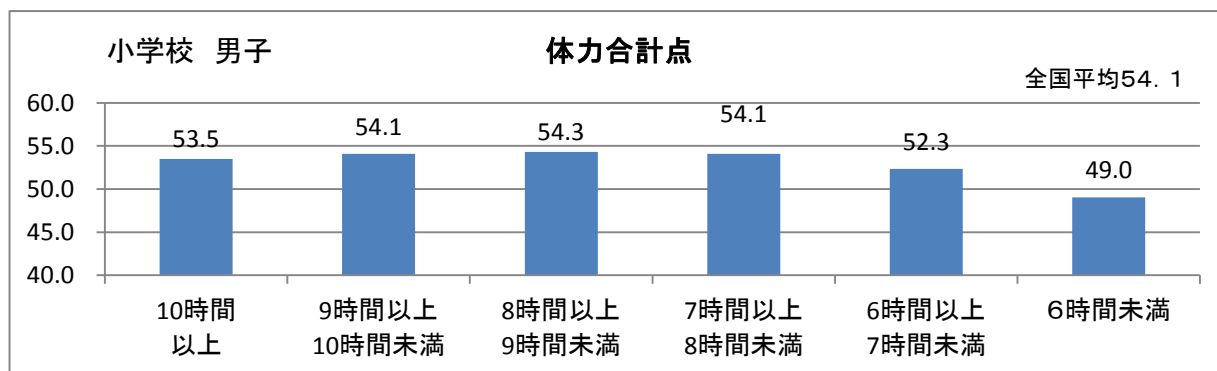
- 小学生は、男子は2時間以上、女子は3時間以上で全国平均より高い割合になっている。
- 中学生は、男女ともに3時間以上で全国平均より高くなっている。
- 小学生・中学生ともに、5時間以上と答えた割合が高い状況である。

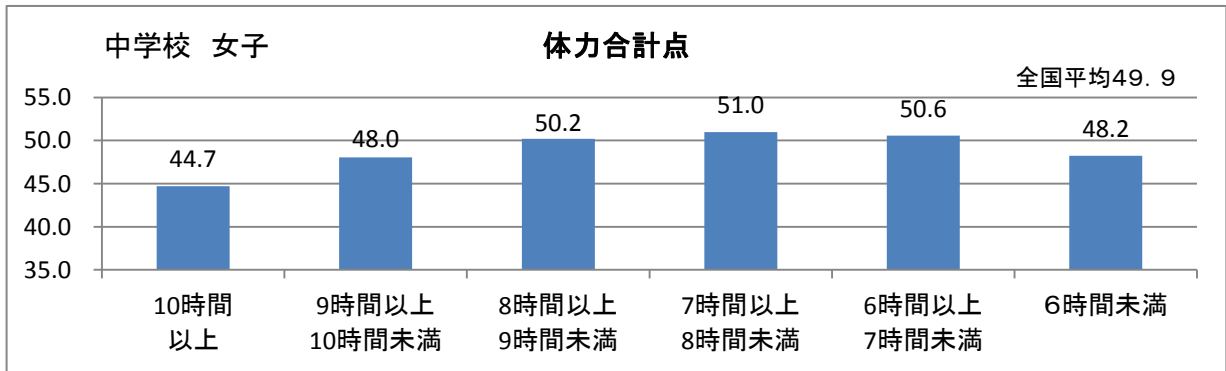
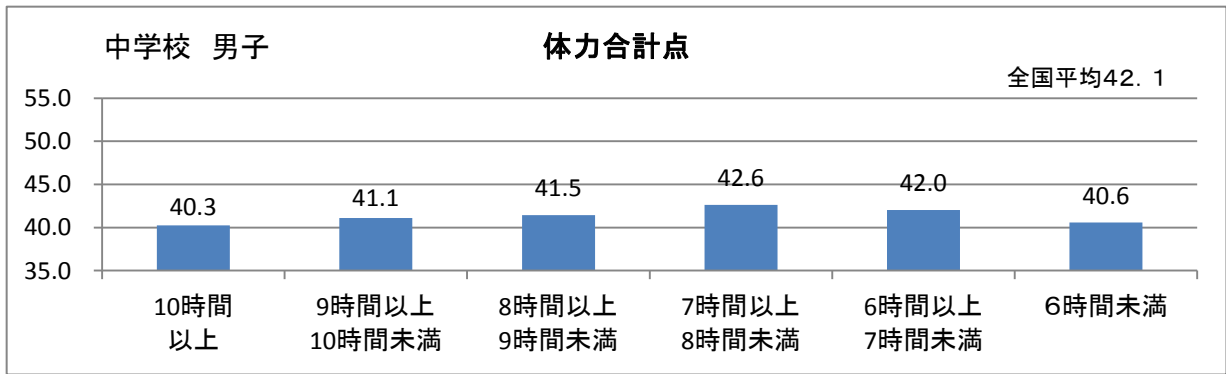
朝食と体力合計点との関連



○朝食を毎日食べる児童・生徒の体力合計点は、高い傾向にある。

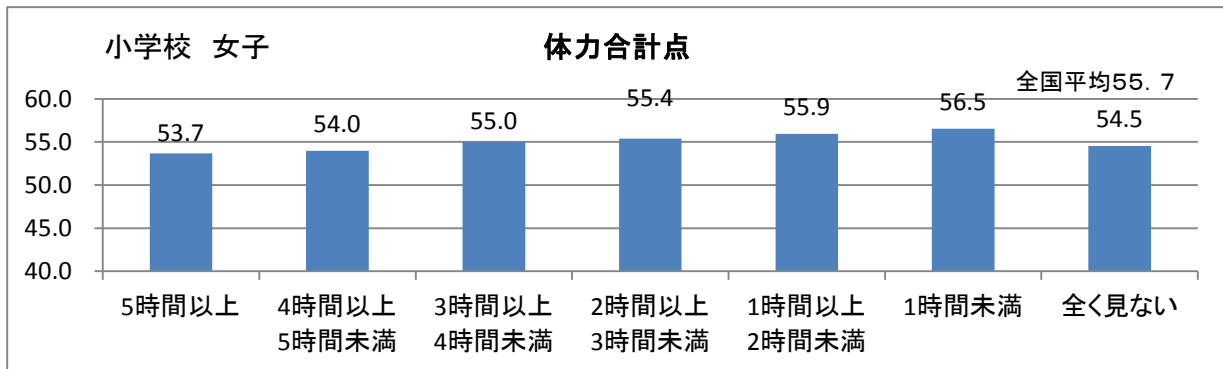
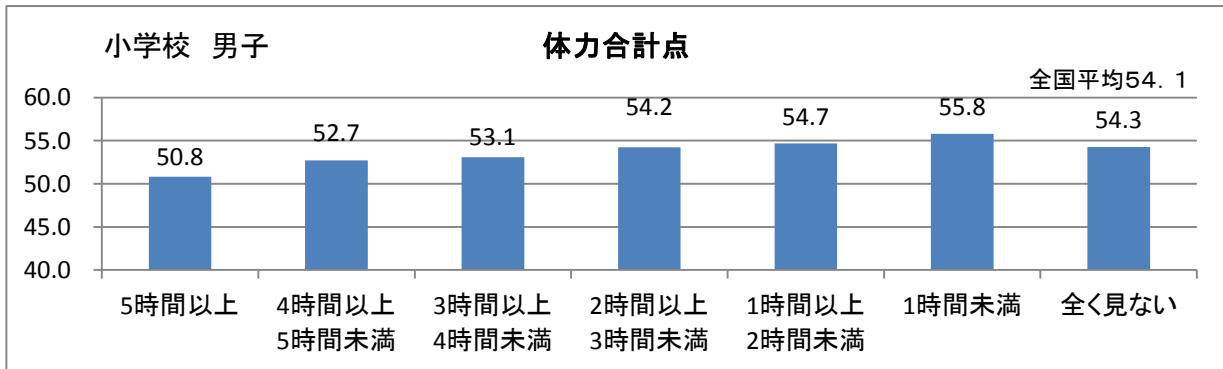
睡眠時間と体力合計点との関連

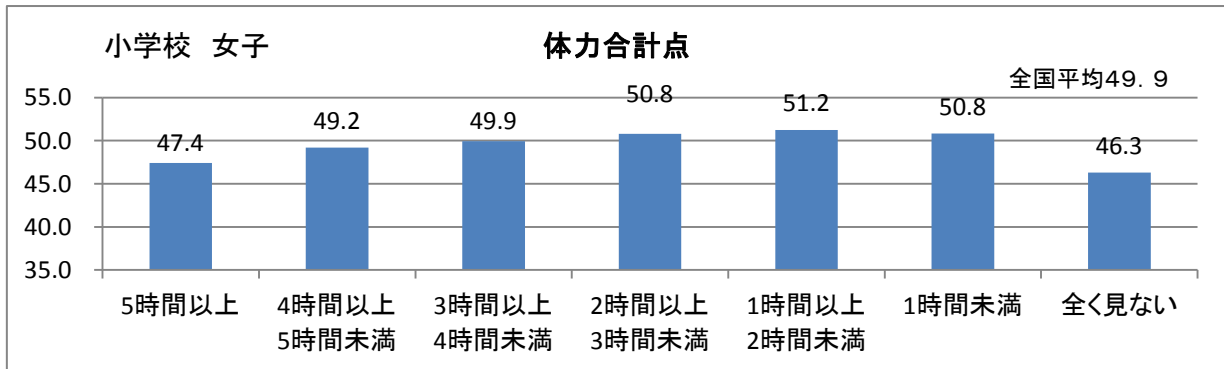
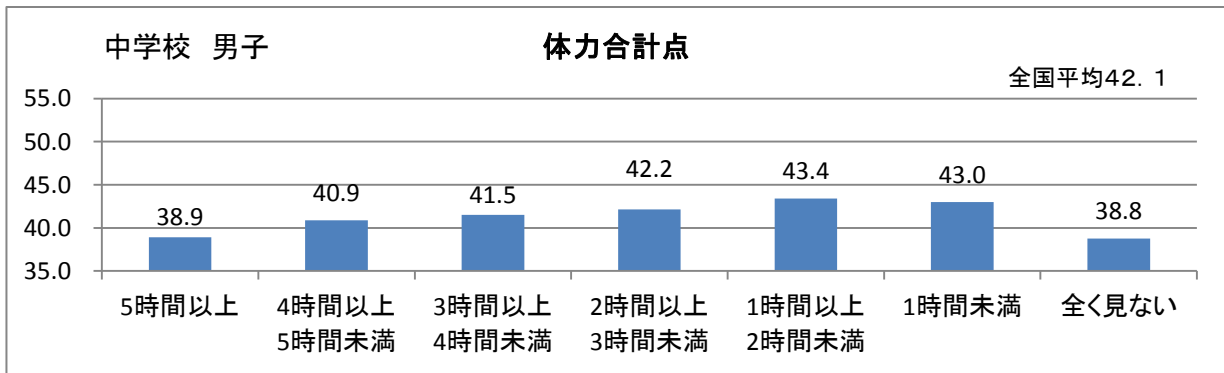




○睡眠時間が6時間未満の児童・生徒の体力合計点は低い傾向にある。

平日のテレビやスマートフォン等の視聴時間と体力合計点との関連





○テレビやスマートフォン等の視聴時間が長いほど体力合計点が低い傾向にある。

考察

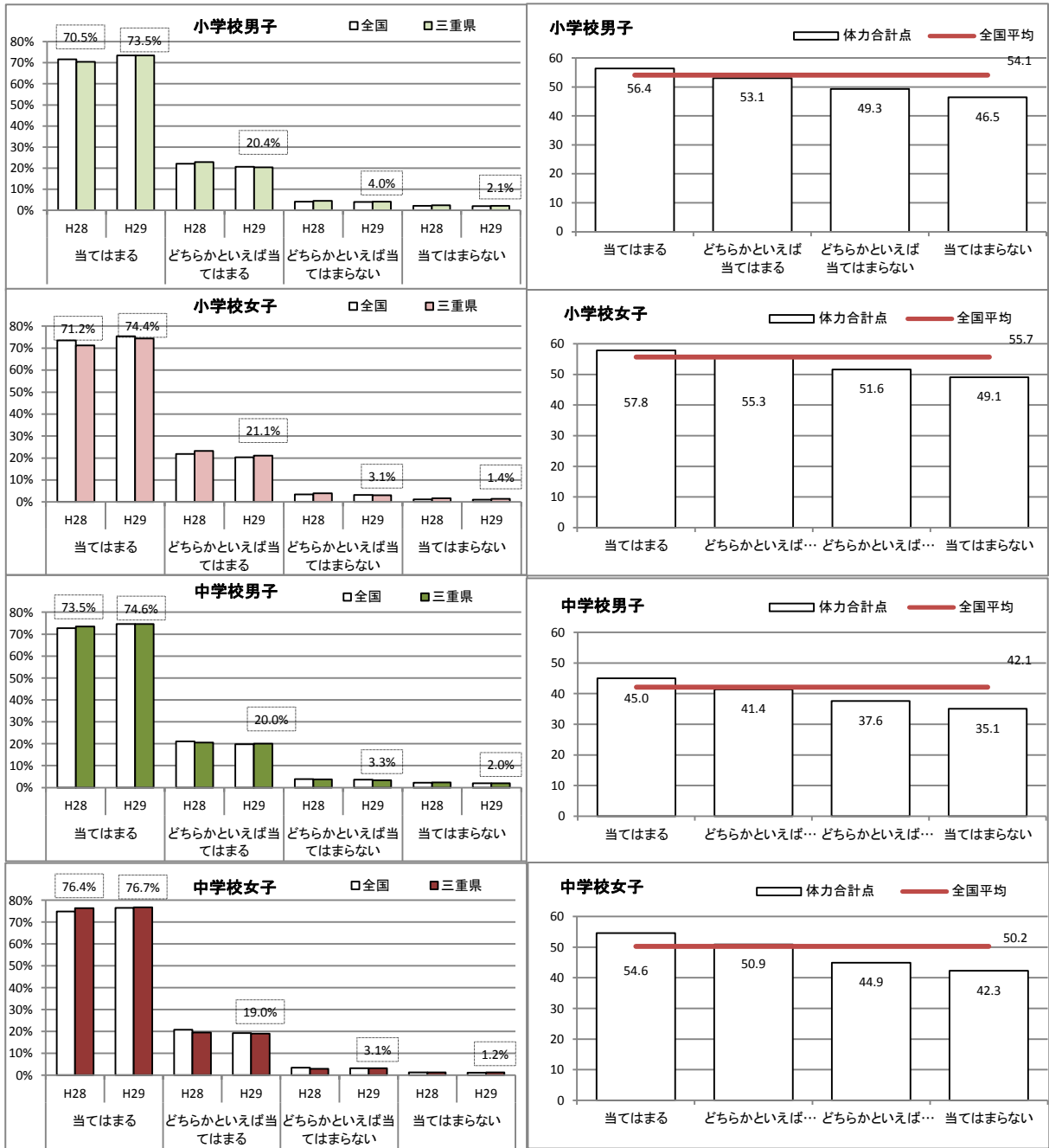
体力の向上を効果的に進めるには、運動だけでなく食事や睡眠も含め総合的に取組を行い、生活習慣と体力の関係、食べること・寝ることの重要性を児童・生徒、保護者に伝えるようにしていくことが必要です。

また、健康の三原則（運動、栄養（食事）、睡眠）の中で運動を大切だと思う割合が一番低くなっています。生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送るためには、子どもの時期からの運動習慣は大切です。

さらに、本県の児童・生徒は、テレビやスマートフォンなどの画面を長時間見ている割合が高く、これら生活習慣の改善について学校で子どもたちに伝えながらも、実践していくためには、家庭の理解が必要になってきます。家庭と協力し合い、取り組んでいくことが体力の向上につながると考えられます。

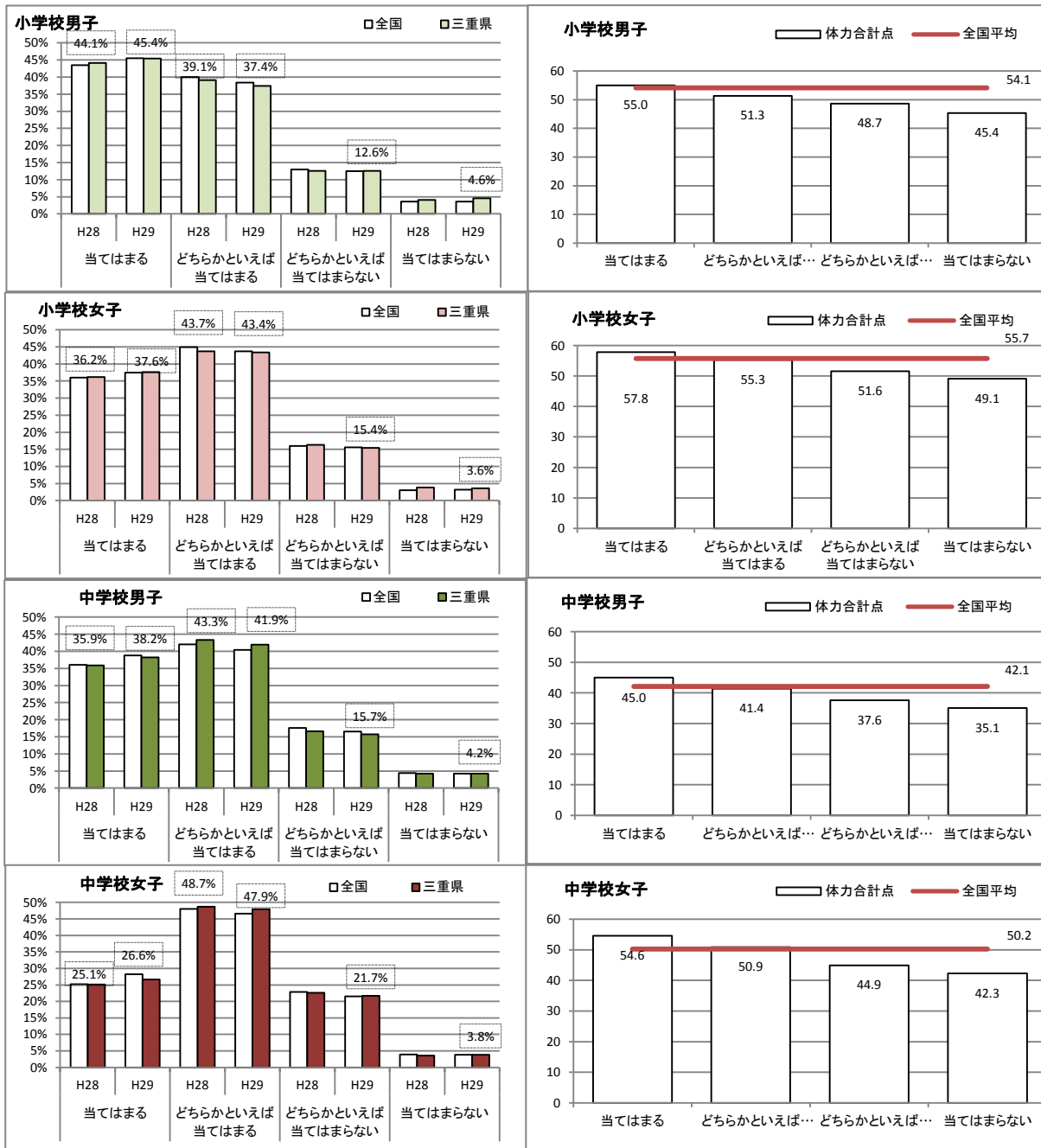
(5) 児童・生徒の自信や意欲と体力合計点

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。(達成感)



○「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」と回答した児童生徒は体力合計点が高い傾向にある。

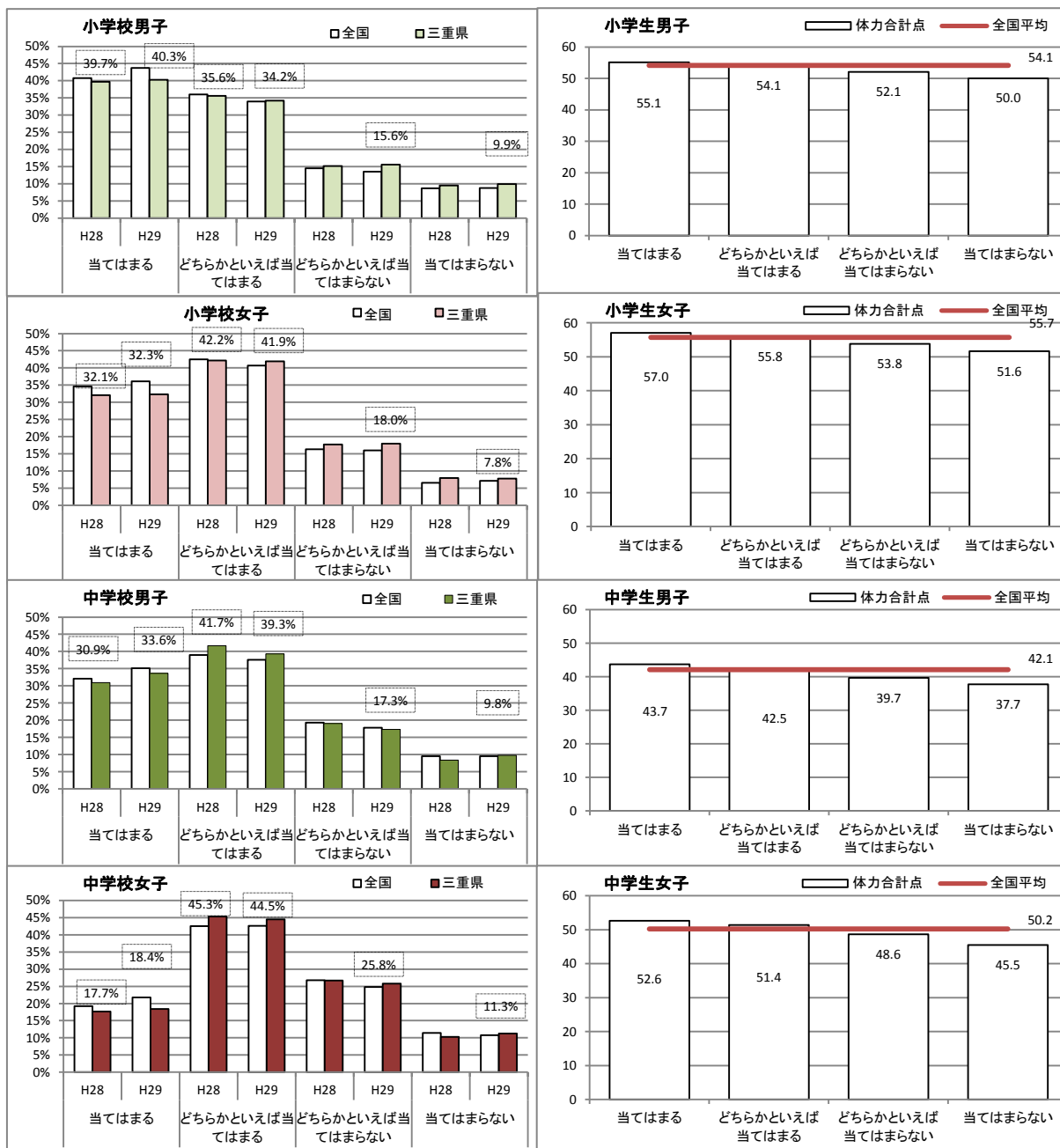
難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。（挑戦する気持ち）



○「当てはまる」と答えた児童・生徒は昨年度と比較して増加傾向にある。

○「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」と回答した児童生徒は体力合計点が高い傾向にある。

自分には、よいところがあると思う。(自己肯定感)



○小学生・中学生ともに「当てはまる」生徒の割合が全国平均を下回っている。

○「自分には、よいところがある」と回答した児童生徒は体力合計点が高い傾向にある。

考察

「達成感」、「挑戦する気持ち」、「自己肯定感」いずれの質問においても「当てはまる」と回答した児童・生徒の体力合計点は、高い傾向にあることがわかりました。

体育・保健体育の授業において、児童・生徒が楽しさを味わい、意欲的に取り組みながら、これらの思いを実感できるためには、教員が子どもたちの成長を認めていくことが体力向上につながると考えられます。

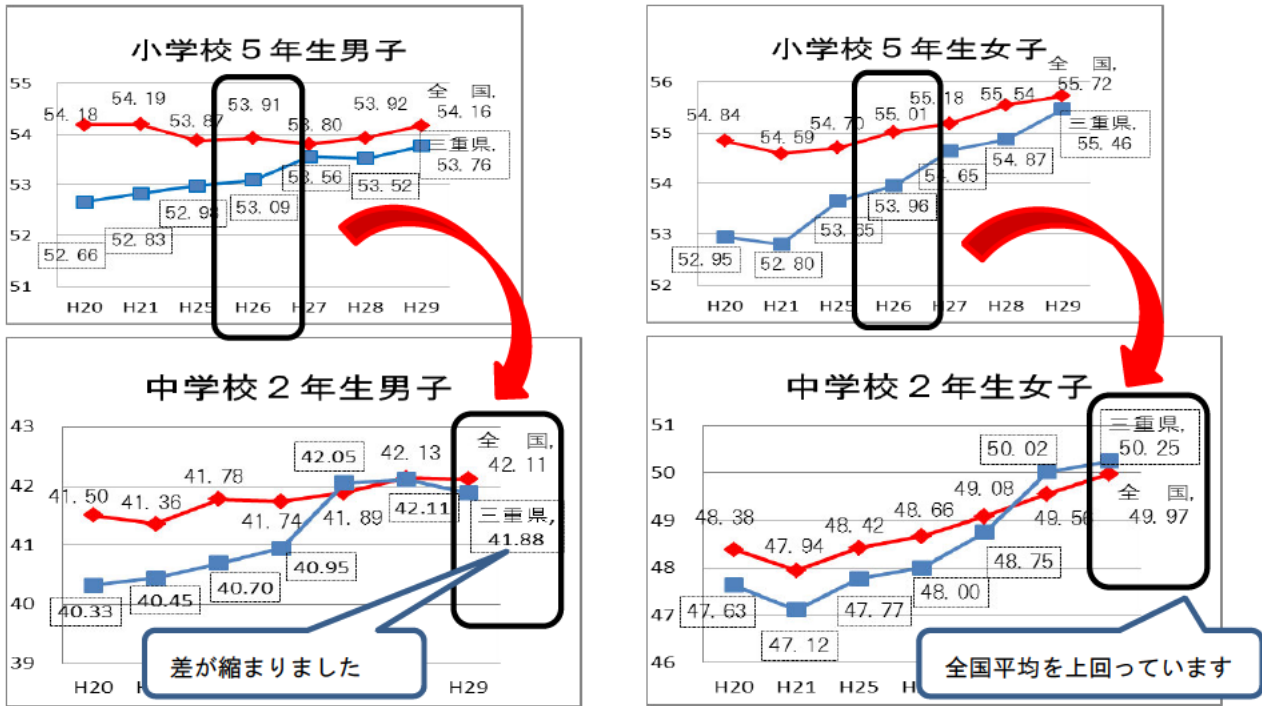
Ⅳ 平成26年度小学校5年生、平成29年度中学校2年生の比較（同一児童生徒）

平成26年度に悉皆調査を行った小学校5年生が、本年度、中学校2年生として悉皆調査を行ったことから、体力の状況等について報告します。

(1) 体力合計点

男子は、全国平均値との差が0.82（H26）から0.23（H29）に縮まっています。

女子は、全国平均値との差が1.05（H26）ありましたが、全国平均を0.28（H29）上回りました。

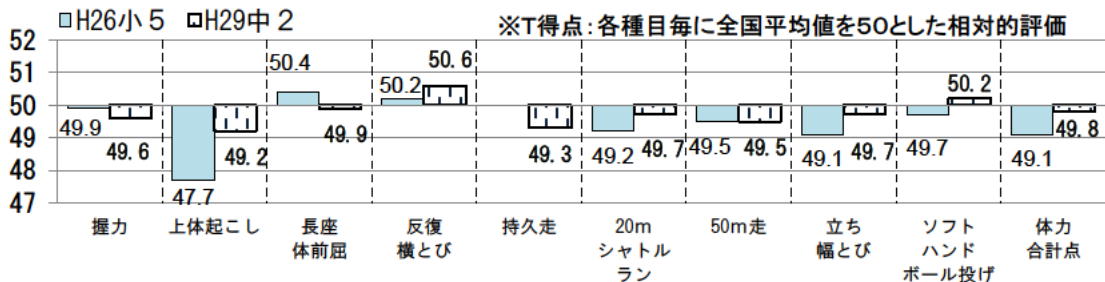


(2) 実技種目

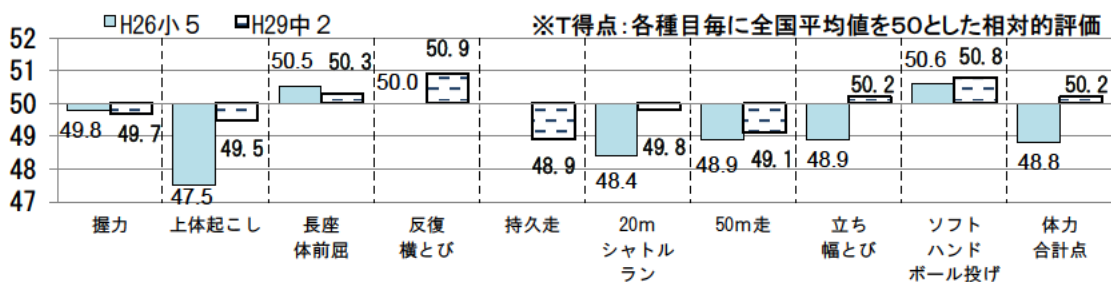
男子は、比較のできる8種目中5種目においてT得点が上昇しています。

女子は、比較のできる8種目中6種目において、T得点が上昇しています。

平成29年度中2男子の小5時との実技種目T得点比較表



平成29年度中2女子の小5時との実技種目T得点比較表



(3) 児童・生徒質問紙の回答状況

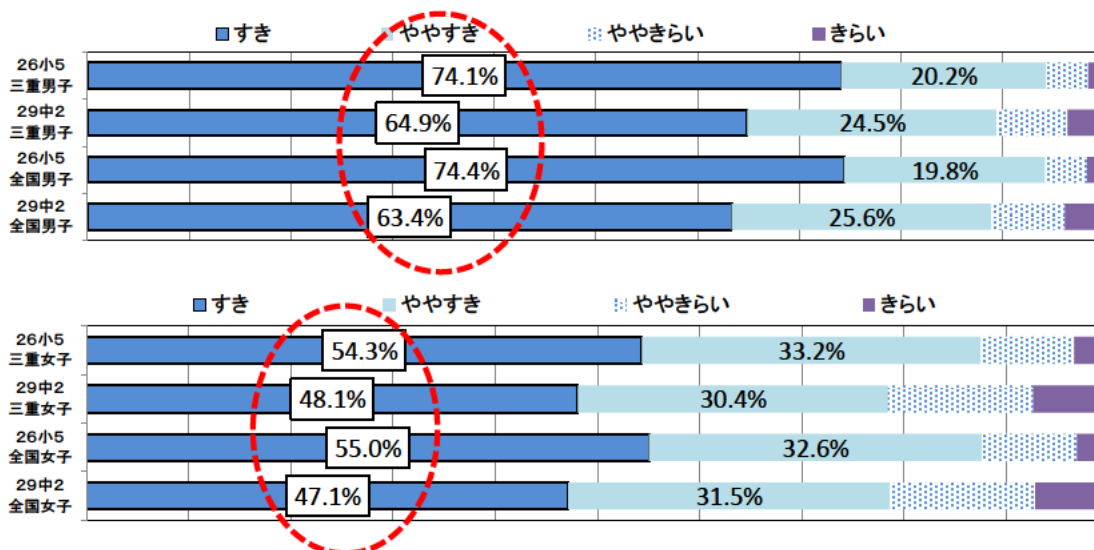
①運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか （「好き」「やや好き」の回答）

3年間の変化

男子：本県 9.2 ポイント減少、全国平均 11.0 ポイント減少

女子：本県 6.2 ポイント減少、全国平均 7.9 ポイント減少

小学校から中学校にかけて、運動やスポーツをすることが好きな子どもたちの割合は減少しています。本県の中学男女はともに「好き」と答える生徒の割合が、全国平均と比較して高くなっています。



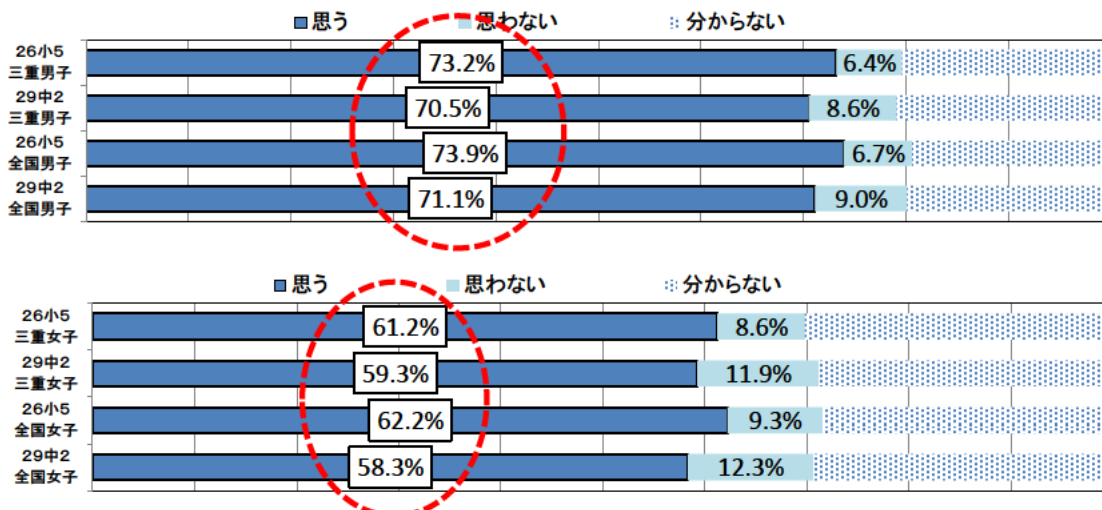
②中学校に進んだら（小学校）または中学校を卒業したら（中学校）、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。（「思う」の回答）

3年間の変化

男子：本県 2.7 ポイント減少、全国平均 2.8 ポイント減少

女子：本県 1.9 ポイント減少、全国平均 3.9 ポイント減少

小学校から中学校にかけて、卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい子どもたちの割合は減少しています。本県中学女子の「思う」と答える生徒の割合は、全国平均と比較して高くなっています。



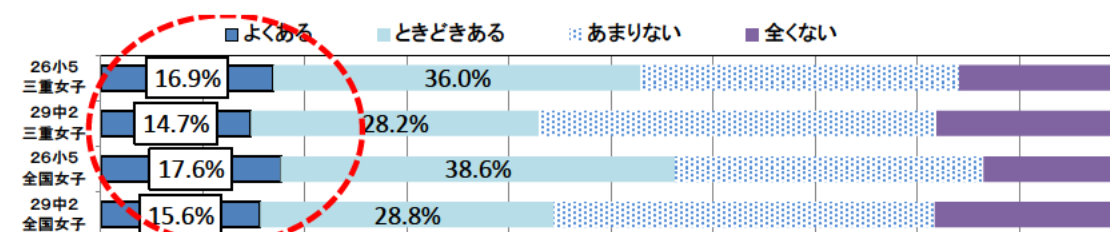
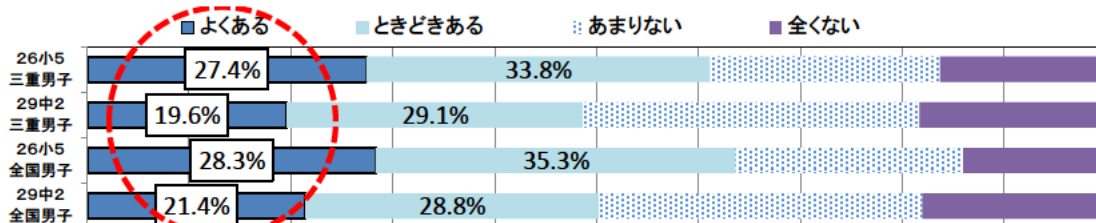
③家の人から運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがありますか。（「よくある」の回答）

3年間の変化

男子：本県 7.8 ポイント減少、全国平均 6.9 ポイント減少

女子：本県 2.2 ポイント減少、全国平均 2.0 ポイント減少

小学校から中学校にかけて、家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられる子どもたちの割合は減少しています。本県は「よくある」と答える生徒の割合が、全国平均と比較して低い状態が継続しています。



④ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。

平成 26 年度の回答選択肢は、1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

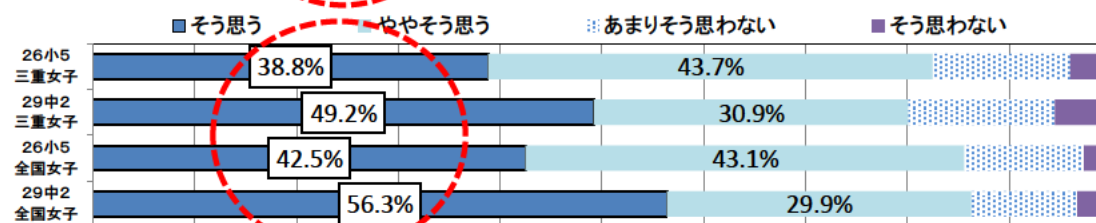
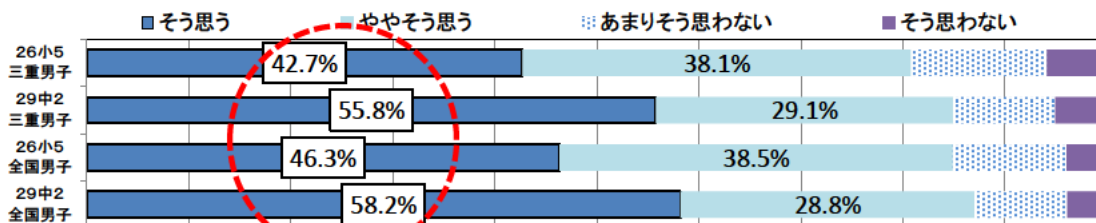
平成 29 年度の回答選択肢は、1. 示されている 2. ときどき示されている 3. あまり示されていない 4. 示されていない

3年間の変化

男子：本県 13.1 ポイント増加、全国平均 11.9 ポイント増加

女子：本県 10.4 ポイント増加、全国平均 13.8 ポイント増加

小学校から中学校にかけて、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていると思う子どもたちの割合は増加しています。本県は「よくある」と答える生徒の割合が、全国平均と比較して低い状態が継続しています。



⑤ふだんの保健体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか。

平成 26 年度の回答選択肢は、1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

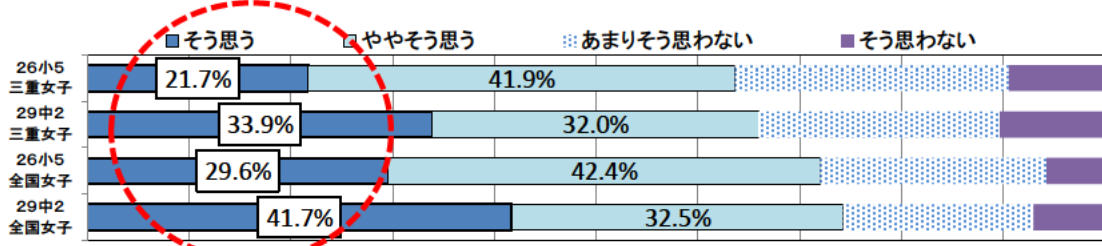
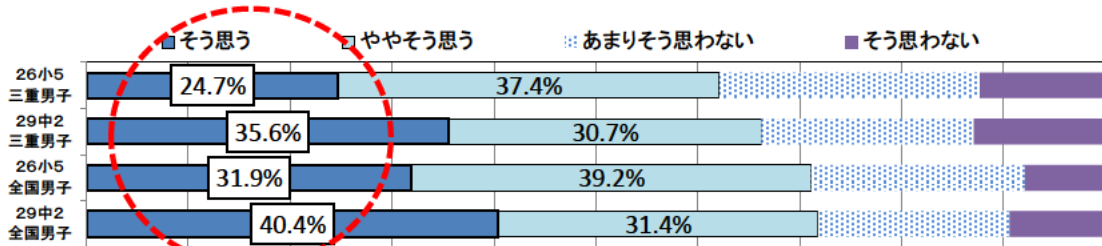
平成 29 年度の回答選択肢は、1. 行っている 2. ときどき行っている 3. あまり行っていない 4. 行っていない

3 年間の変化

男子：本県 10.9 ポイント増加、全国平均 8.5 ポイント増加

女子：本県 12.2 ポイント増加、全国平均 12.1 ポイント増加

小学校から中学校にかけて、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますかと思う子どもたちの割合は増加しています。本県は「よくある」と答える生徒の割合が、全国平均と比較して低い状態が継続しています。



V 今後の取組方針

(1) 学校の主体的な取組

- ・各学校が、「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を分析し、成果や課題を把握したうえで、子どもたちの体力向上に向けた目標を設定し、実行できるよう取り組んでいきます。
- ・元気アップコーディネーターや指導主事が、市町教育委員会と連携し、1学校1運動や体力テストの継続実施が不十分な学校へ重点的に指導・助言を行っていきます。
- ・小・中・高の異校種の先生によるグループ協議を実施して、それぞれの立場から意見を出し合い、不得意種目の克服に向けた好事例を共有し、取組に活かしていきます。
- ・体力テストの総合評価の基準をクリアし、学校全体で体力向上に取り組んでいる学校に対して表彰していきます。
- ・体力テストの結果を入力すると自校の傾向が分かる振り返りシートを活用し、体力についての強み弱みを把握し、さらなる取組に向けてつなげていきます。
- ・体力向上に向けた取組を進めるため元気アップシートを作成し、校内で共有を図り、活用していきます。
- ・中学校の部活動において、文化部も含めて合同で体力向上に係る取組を行い、運動時間の確保につなげていきます。

(2) 授業の工夫改善等の取組

- ・子どもたちが体育・保健体育の授業を「楽しい」と思い、達成感を得られるように目標（めあて・ねらい）と振り返りを徹底していきます。
- ・運動が苦手な児童・生徒には、能力及び発達段階に応じた活動など、場の設定を工夫し、スモールステップを踏むことで運動への自信につなげていきます。
- ・国による学習指導要領に基づいた最新の指導方法を学んだ教員を講師として、研修内容を還流する講義を行い、授業に取り入れていきます。
- ・部活動ガイドラインを活用し、運動部活動の充実を図り、生徒が部活動を通して競技の特性に触れ、魅力を感じ、運動やスポーツが好きになることで、運動習慣の定着につなげていきます。
- ・運動部活動サポーターや運動部活動の顧問を対象の研修会を通して指導方法や適切な部活動運営など指導者のスキルアップを図っていきます。

(3) 家庭・生活習慣の取組

- ・学校のホームページや学校だより等で家庭や地域に対して体力テストの結果を公開していくように働きかけをしていきます。
- ・各家庭の運動をはじめ栄養（食事）、睡眠や生活習慣に対する意識を高めるとともに、子どもに運動することをすすめられるよう「わたしの成長記録」を活用し、体力テストの結果だけでなく、一人ひとりに応じた体力向上の改善提案や、テレビやスマートフォンなどに係わる生活習慣の改善について家庭に情報発信できるよう学校の取組を支援していきます。
- ・「みえの地物が一番！朝食メニューコンクール」を県内全域に定着させ、子どもた

ちが地場産物を使用した朝食メニューを考え、調理することで自らの食生活に関心を持ち、望ましい食習慣を身につけることにつなげていきます。

・学校を核として、地域や家庭と連携した食育を推進することで、子どもたちに食事の重要性や心身の健康の大切さを伝え、家庭における望ましい食生活の実践にもつながるモデルを構築し、その取組の成果を県内に広く発信していきます。

(4) 就学前の取組

・子どもたちの生活の中に運動が入り込んでいけるよう保育士や幼稚園教諭等を対象とした研修会を開催し、参加する教員等が指導方法を身に付け各園等に持ち帰ることで、子どもたちの体を動かす遊びを充実させることができるよう、引き続き市町や関係機関と連携し、取組を進めていきます。

H29みえ子どもの元気アップシート(小学校)

学校名	市立 町立	小学校
-----	----------	-----

1. 平成28年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について

(1) 実技種目及び児童質問紙について

- 学校種別は、実技及び児童質問紙の学校平均を入力する
- 比較欄は、「全国」「三重県」の両方超えていたら○、どちらか一方なら△、どちらも超えられていないかつ△をリストから選択してください

男子	体力合計点	ABC	DE	体力に自信がある	1週間の総運動時間(分)	朝食を毎日食べる	8時間以上
全国	53.92	70.3%	29.7%	27.1%	602.9	84.0%	57.9%
三重県	53.52	68.2%	31.9%	73.3%	608.3	82.3%	58.8%
学校	57.73	81.8%	18.2%	77.3%	605.30	81.0%	45.5%
比較	◎	◎	○	◎	○	△	△

男子	テレビ等0~3時間未満	体育の授業は楽しい	体育授業の目標が示されている	体力向上の目標を立てている	できるよくなつたきつかけ	体力向上の目標を立てている	失敗を恐れないで挑戦する(当てるはまる)
全国	61.0%	73.2%	49.2%	44.8%	35.0%	70.5%	43.5%
三重県	57.7%	75.8%	46.7%	43.3%	32.4%	69.8%	44.1%
学校	61.9%	68.2%	86.4%	77.3%	40.9%	90.9%	45.5%
比較	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	立ち幅とび	ソフトボール投げ
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	151.39	22.42
三重県	16.48	19.03	32.89	42.84	51.17	149.84	22.29
学校	17.82	21.36	33.55	46.91	61.27	168.20	22.32
比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

女子	体力合計点	ABC	DE	体力に自信がある	1週間の総運動時間(分)	朝食を毎日食べる	8時間以上
全国	55.54	76.3%	23.7%	15.1%	370.3	84.6%	62.3%
三重県	54.87	73.6%	26.3%	13.0%	353.7	83.1%	63.9%
学校	58.86	90.9%	9.0%	18.2%	330.40	72.7%	36.4%
比較	◎	◎	△	◎	△	△	△

女子	テレビ等0~3時間未満	体育の授業は楽しい	体育授業の目標が示されている	体力向上の目標を立てている	できるよくなつたきつかけ	体力向上の目標を立てている	失敗を恐れないで挑戦する(当てるはまる)
全国	68.3%	60.3%	47.7%	43.3%	33.2%	71.1%	36.0%
三重県	66.2%	62.0%	46.1%	42.0%	31.0%	69.3%	36.2%
学校	63.6%	77.3%	95.5%	86.4%	45.5%	81.0%	40.9%
比較	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	立ち幅とび	ソフトボール投げ
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	145.31	13.88
三重県	16.08	17.77	37.10	40.74	39.42	143.68	14.11
学校	16.45	20.55	34.64	45.14	51.68	153.7	14.09
比較	◎	◎	△	◎	◎	◎	○

(2) スポーツ庁配付「全国体力」調査関係資料の活用について

- 「記録シート」(調査用紙送付時間欄) 7 月児童配付
- 「学校用確認シート」(結果時間欄) 3 月配付又は供覧
- 「取組チェックシート」(「全国体力」調査結果報告書裏返しより一部改)

確認項目中の「体力向上」：体力・運動能力の向上の略

「平成28年度の取組状況について確認しましょう」欄選択：YES、NO

「体力向上」のための学年としての目標を設定していましたか。	YES
①「体力向上」のための学年としての目標を設定していましたか。	YES
②「体力向上」のための学校全体の目標を、学年としての目標と別に設定していましたか。	YES
③「運動・スポーツが苦手(嫌い)な児童向けの取組、性別に応じた取組を行いましたか。	YES
④体育の授業において、指導方法等の工夫・改善を行いましたか。	YES
⑤体育の授業の冒頭で、その授業の目標を児童に示す活動を取り入れていますか。	YES
⑥体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。	YES
⑦体育の授業では、児童同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。	YES
⑧体育の授業で、授業中にICTを活用していますか。	YES
⑨体育の授業以外で、学年に対して、児童の「体力向上」に係る取組を行いましたか。	YES
⑩学年の授業以外で、全ての児童に対して、「体力向上」に係る取組を行いましたか。	YES
⑪健康の三原則(運動、栄養(食事)、睡眠)の大切さを、児童に伝えていますか。	YES
⑫地域のスポーツクラブへの参加など、学年の児童の学校外での運動実施の状況について把握していますか。	YES
⑬児童の「体力向上」に関する取組、体育の授業指導方法の工夫・改善について、全校職員で進めていますか。	YES
⑭家庭に対して、子どもの体力向上に係る説明・呼びかけ等を行っていますか。	YES
⑮児童の運動やスポーツに関し、近隣の学校間での連携をしていますか。	YES
⑯児童の担当教員以外でも、「全国体力」調査結果についての情報を共有しましたか。	YES
⑰「全国体力」調査結果資料CDを活用しましたか。	YES
⑱「全国体力」調査「記録シート」を活用しましたか。	YES
⑲「全国体力」調査報告書に掲載した事例校の実践を参考にした取組を行いましたか。	NO
⑳「全国体力」調査報告書の巻末に掲載した「取組チェックシート」を活用しましたか。	YES
㉑学校のホームページや学校だより等で、「全国体力」調査結果を公開しましたか。	YES

2. 平成28年度の各学年の新体力テストの結果(夏季研修会「体力テストふりかえりシート」から)

(1) ABCの割合 回答選択：超えている=◎、超えていない=△、未実施

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
男子(70%を超えている)	◎	◎	△	◎	◎	◎
女子(75%を超えている)	◎	◎	◎	◎	◎	◎

(2) 各種目の状況(各付可) 回答選択：目標値を超えている=◎、目標値を超えていない=△、未実施

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
1年	◎	△	△	△	◎	◎	◎	△
2年	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	△
3年	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	△
4年	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	◎
5年	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	△
6年	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	△
女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
1年	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△
2年	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	△
3年	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	△
4年	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎
5年	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎
6年	◎	△	△	◎	◎	◎	◎	△

3 体力向上の取組の振り返り

(1) 平成28年度の体力向上の目標 (H28みえ子どもの元気アップシートから転載)

・各学年のABCの割合を男女とも85%以上にする。
 ・運動の日常化を図る。

(2) 平成28年度の体力向上の取組内容 (H28みえ子どもの元気アップシートから転載)

<体育の授業での取組>

・体力テストの分析をもとにした体づくり運動の実施を継続する。
 ・体育授業の作り方(構や課題づくりも含めて)について研修会を開き、5分間運動の充実や運動の中心のおもしろさを意識した授業づくりを目指す。
 ・体育における学び合いの研究をすすめる上で、体育版学びのルールを作成する。

<運動の日常化・運動時間の確保をめざした取組>

・三重北遊び週間に年3回程度、継続的に実施する。
 ・固定遊具のチャレンジカードを見直すとともに、固定遊具以外の様々な運動遊びをカードにして、意欲を高める。

<家庭・地域と連携を図る取組>

・体力テスト結果を保護者に知らせ、家庭で体力向上について考えるきっかけを作る。
 ・体力テストの時期だけでなく、保護者に運動・食事・睡眠の重要性を定期的に啓発する。

(3) 平成28年度の体力向上の取組の成果と課題

学校全体の体力向上の目標について

・各学年のABCの割合を男女とも87%とすることができた。昨年度より1%増加した。
 ・男女別で見ると女子は91%、男子は83%で、男子が目標値に達しなかった。
 ・高学年女子は90%以上と非常に高い。
 ・外遊びをしている児童の割合は70%で、昨年度より4%減少した。

(4) 平成28年度の体力向上の取組内容の成果と課題

<体育の授業での取組>

・体力テストの分析をもとに、本校の弱みである投能力を向上するための運動を全校で実施した。
 ・体育好きの子どもを育てるためことを目指し、運動の中心のおもしろさを意識した体育の授業づくりの研修をすすめることができた。
 ・「めあてとふりかえり」を大切にしながら授業づくりができた。
 ・体育の力キリキュラムを見直すことで、どの学年も同じような運動ができた。
 ・運動の中心のおもしろさをとつけたたい力を意識した授業づくりを今後も研修し、共通理解を図りたい。

<体育の授業以外で、運動の日常化・運動時間の確保をめざした取組(1学校1運動)>

・今年度も三重北遊び週間に継続的に実施した。
 ・固定遊具の遊び「三重北チャレンジパーク」の見直しを図り、全校児童へ紹介した。
 ・取組みはしているが、アンケートの結果は低い。運動の日常化を図るために、体育委員会中心に、外へ遊びに行くように、様々な手段でよびかけたい。

<家庭・地域と連携を図る取組>

・体力テストの結果を保護者に知らせ、家庭で取り組めるきっかけを作った。
 ・学年通信などを利用して、定期的に、体力づくりや健康促進のための取り組みを働きかけていきたい。

4 平成29年度の各学年の目標

H29入学 1年	入学後設定
H28入学 2年	さまざまな運動遊びを経験させ、遊びを通して「投げる・走る・跳ぶ」動きをたくさん経験させる。
H27入学 3年	「ソフトボール投げ」を高めるために、体づくり運動で、ボールや玉を投げる運動に取り組む。
H26入学 4年	「長座体前屈」が弱いので、ペアストレッチの導入など、体をほぐす運動を取り入れる。
H25入学 5年	比較的どの種目も高いが、さらに自分の体力を高めていけるように、1人ひとりに自分の目標を持たせる。
H24入学 6年	ABCの割合が85%になるように、外遊びと体育の授業を充実させる。

5 平成29年度の学校全体での目標

(1) 平成29年度の体力向上の目標

・各学年のABCの割合を男女とも85%にする。(今年度は男子83% 女子91%)
 ・運動の日常化を図る

(2) 平成29年度の体力向上の取組内容

<体育の授業での取組>

・引き継ぎ、体力テストの分析をもとにした体づくり運動の実施を行う。特に「ソフトボール投げ」を重点課題とし、投能力を高める運動を行う。
 ・体育授業の作り方の研修会を開く。「運動の中心のおもしろさ」と「つけたたい力」を明確にした授業づくりを目指す。
 ・6年間を見据えたカリキュラムを大切に、各学年で力を積み上げていくことを大切に。

<体育の授業以外で、運動の日常化・運動時間の確保をめざした取組(1学校1運動)>

・三重北遊び週間に継続的に実施する。
 ・「三重北チャレンジパーク」を来年も大切に、固定遊具の遊びも継続的に広めていく。
 ・体育委員会を中心に、掲示物の工夫や、朝のよびかけなど、外遊びや運動に興味を持って取り組むを行う。

<家庭・地域と連携を図る取組>

・体力テストの結果を保護者に知らせ、家庭で取り組めるきっかけを作った。
 ・学年通信などを利用して、定期的に、体力づくりや健康促進のための取り組みを働きかける。

29年度 体力テストふりかえりシート

学校名

【各学年の学校平均値】

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	A B C
1年	9.30	9.36	27.45	23.91	26.09	12.39	105.27	5.55	70.00%
2年	10.47	15.88	30.76	31.59	29.59	10.58	130.06	11.88	70.59%
3年	12.26	18.58	29.05	33.74	49.47	10.37	131.00	14.95	78.95%
4年	14.00	19.68	30.91	41.50	52.82	9.48	147.86	19.32	81.82%
5年	17.13	22.70	35.74	43.57	69.35	8.97	160.87	27.35	86.96%
6年	19.27	25.09	40.23	50.82	67.76	8.72	167.27	26.95	85.71%

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	A B C
1年	9.48	11.33	28.76	26.48	23.76	11.93	114.43	5.67	76.19%
2年	10.00	14.50	28.13	30.94	22.38	10.84	125.63	7.06	68.75%
3年	13.00	18.58	30.42	33.92	33.75	10.60	139.42	10.42	83.33%
4年	13.85	19.37	33.22	36.96	41.67	9.81	146.30	11.07	77.78%
5年	17.33	19.45	36.77	40.00	54.73	9.42	154.09	14.95	85.00%
6年	19.91	23.73	41.36	49.23	54.45	9.10	158.68	15.45	90.48%

目標値（例）との比較

◎：目標値（例）を上回っている

△：目標値（例）を下回っている

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	A B C
1年	◎	△	◎	△	◎	△	△	△	◎
2年	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎
3年	△	◎	△	△	◎	△	△	△	◎
4年	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	◎
5年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6年	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	A B C
1年	◎	◎	△	△	◎	△	◎	△	◎
2年	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	△
3年	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎
4年	△	◎	△	△	◎	◎	◎	△	◎
5年	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎

平均値と目標値（例）との単純比較なので、△でも同程度と考えられる種目があると思います。各学年の体力向上の課題を明らかにする一つの手段として、体力向上の目標設定や取組を見直す参考にしてください。

学校全体、学年ごとの課題を明らかにするためにも、実施学年、実施種目の拡大に努めてください。全学年、全種目を実施し、学校全体で体力向上に取り組んでいきましょう。

1 ABCの割合について

男子	70%を超えている学年は	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	70%を超えていない学年は	1年	2年	3年	4年	5年	6年
女子	75%を超えている学年は	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	75%を超えていない学年は	1年	2年	3年	4年	5年	6年

※男子70%、女子75%を目標値をとっています。

2 各種目の状況について

男子6学年8種目・48項目のうち、目標値を上回っているのは、30項目です。

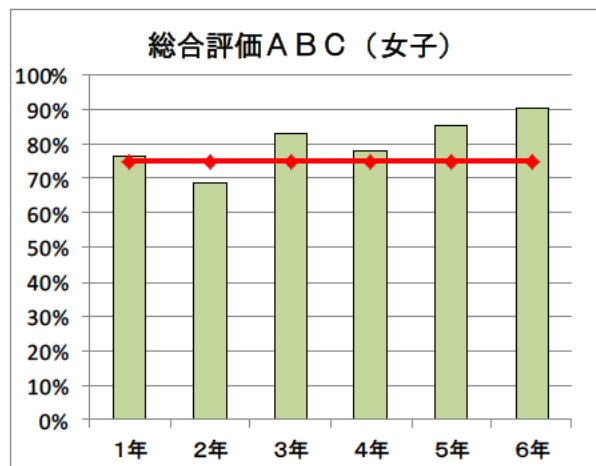
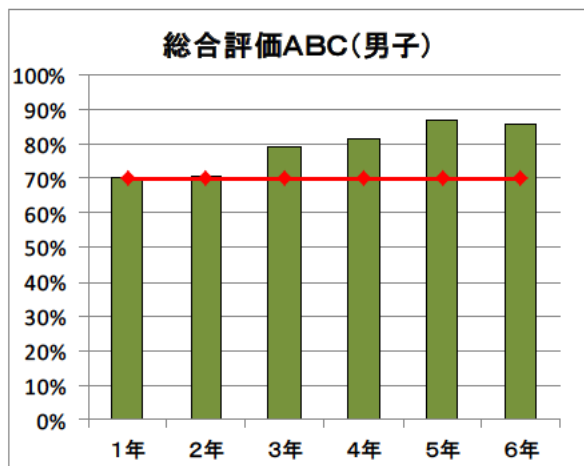
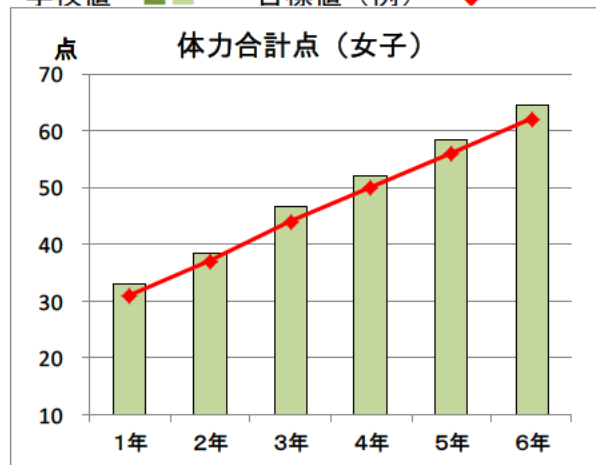
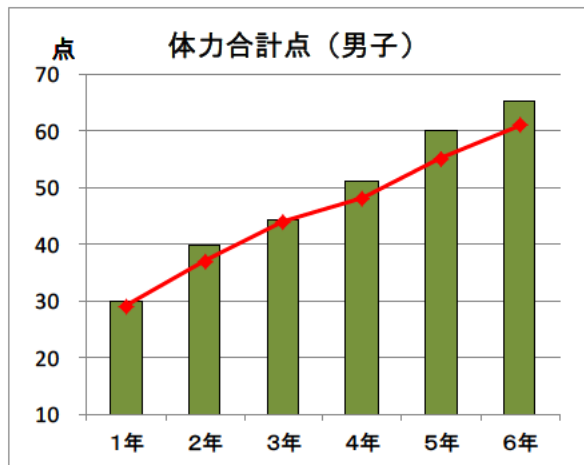
女子6学年8種目・48項目のうち、目標値を上回っているのは、34項目です。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
目標数値を超えた数	7	11	5	8	12	8	10	3
実施学年の数	12	12	12	12	12	12	12	12
			課題					課題

課題：目標数値を超えた数（男女別）÷実施学年の数（男女別）が0.5未満の場合に表示されます。

2 目標値（例）と各学年の状況の比較グラフ

学校値 ■■■ 目標値（例）—◆—



子どもの体力向上について

平成 29 年度全国体力・運動能力、
運動習慣等調査の評価 (Check) 改善 (Action)

- 平成 29 年度に設定した目標や体力向上の取組 (1 学校 1 運動) の評価
- 平成 29 年度全国体力調査結果の自校分析

- 評価を踏まえた学校の取組の見直し、工夫・改善の検討

※「元気アップブロック別協議会」(2 月上旬から下旬 県内 9 カ所にて開催)
平成 30 年度の計画 (Plan)

- みえ子どもの元気アップシートの作成
 - ・各学校での目標設定
 - ・各学校での取組 (1 学校 1 運動)
 - ・授業改善の取組計画
 - ・生活習慣改善の取組計画 など

平成 30 年度の取組 (Do)

- ・元気アップシートに基づいた各学校での取り組み

体力テスト実施 (4 月～7 月)

1 学期の評価 (Check)

- ・体力テスト 8 種目の自校分析
- ・設定した目標や 1 学期に実施した体力向上の取組の評価 など

改善 (Action)

- ・体力認定証、体力の成長記録等を活用した一人ひとりの伸びの確認
- ・目標設定及び体力向上の取組の見直しなど

年度当初計画の修正 (Plan)

- ・平成 30 年度元気アップシートの修正

2 学期以降の取組 (Do)

- ・修正後の目標に向けての取組の実践

平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (12 月結果公表予定)

元気アップコーディネーターによる学校訪問 指導助言

- 体力テスト継続実施による結果の活用方法を助言
- 運動・生活習慣の改善に向けた学校の取組を支援

6 月～10 月 (小・中・高)
元気アップ研修会

1 月～2 月 (9 地域)
元気アップブロック別協議会

平成29年度「みえの地物が一番！朝食メニューコンクール」

○目的（ねらい）

子どもたちが地場産物を使用した朝食メニューを考え、調理することで自らの食生活に関心を持ち、望ましい食習慣を身につけるとともに、食の大切さや地場産物とその生産者について理解を深める。

○応募対象

小学生の部：小学校5、6年生、特別支援学校小学部5、6年生
中学生の部：中学校1～3年生、特別支援学校中学部1～3年生

○応募数

4,068点（小学生の部1,288点、中学生の部2,780点）

※年度別応募者数の推移（H23、24は小学生のみ）（人）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
応募者数	210	288	1,895	1,773	2,357	3,162	4,068

○二次審査（実技）

平成29年10月22日、久居農林高等学校
小学生の部5人、中学生の部5人による調理



○最優秀賞・優秀賞作品を食べよう！

「県庁食堂で食べよう」（12月25日、26日）

「Cotti菜（こっちな）で食べよう」（12月24日～3月4日）

○成果と課題

今回のコンクールでは、小学生の部、中学生の部を合わせて過去最多の4,168点の応募がありました。この取組は、各学校における食に関する指導と関連付けたり、学年や学校単位で応募することで、学習効果の高まりも望めることから、参加校での食に関する指導の推進が図られることが期待できます。

しかし、未だ参加のない市町もあることから、今後は学校における食育の一環として応募が広がるよう、周知していきます。